

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路改良事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	01	道路改良事業

実施計画整理番号	
301010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	令和2年度の具体的な目標
	令和2年度スケジュール
道路利用者が安心・安全に通行できるよう、道路整備を行う。	道路事業用地の取得及び支障物件の移転補償、道路改良工事の設計、工事、施工管理を実施する。
圏央道アクセス …整備を進め早期執行、早期完成に努める。 幹線道路、生活道路の整備 …繰越した1級8号線他2路線の委託及び工事を発注し、早期執行に努める。また安全性、利便性の向上を図る。	圏央道アクセス …委託及び工事を上半期に発注する。 幹線道路、生活道路の整備 …用地買収や測量の影響を受けない箇所については上半期に発注する。またその他の箇所についてもできるだけ早期に発注し繰越しをしない。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	174,542	173,572	122,460	166,600	174,510	107,203	99,752	120,860	91,814	54,350	60,855	51,347	
財源内訳	国補助	千円	82,500	82,500	50,875	77,000	62,660	45,166	32,444	32,444	22,016	2,500	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	82,800	82,800	59,000	80,600	101,300	52,100	60,000	60,000	56,500	45,700	17,100	45,800
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,242	8,272	12,585	9,000	10,550	9,937	7,308	28,416	13,298	6,150	43,755	5,547

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	圏央道アクセス道路の整備	5,000	14,425	14,117	1-15(下太田)の工事を完成させた。
②	幹線道路(市道1級、2級)の整備	28,350	19,842	19,292	計画工事を完了させた。 引続き事業を進める。
③	生活道路(市道3級)の整備	21,000	19,988	17,938	計画工事を概ね完了させた。 3-8014(綱島)の工事費を繰越した。 次年度現線合算で工事を完了させる。
④	生活道路(法定外等)の整備	0	6,600	0	法定外(本納)の工事費を繰越した。 令和3年度の完了を目指す。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		54,350	60,855	51,347	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

1-8(早野)の整備に向け、測量、設計を実施した。
1-15(下太田)ほか5路線の工事を実施した。 道路改良工事 L=831.9m

PLAN (計画)

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010101
3	01	01	01	道路改良事業	7	01	03	01	道路改良事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	道路改良箇所数 7箇所 市道1級15号線他5路線において道路改良工事を実施した。 市道1級8号線において路線測量、道路詳細設計を実施した。					56箇所／168箇所＝33.33%				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用出来るような整備をした。また、市民からの要望も多い。			A:有効である 次年度の整備につながる道路詳細設計を実施し、幹線道路及び生活道路は、安全・安心に通行出来る道路整備が行えた。			B:やや効率的である 集中と選択により次年度を見据え事業を進めている。地元調整及び用地交渉に多大な時間を費やしてしまう。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会回覧を行っている。また必要な箇所においては地元説明会を実施している。			B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会の意見収集。			B:実現に向けて取り組んでいる 用地買収について、自治会に関係地権者への協力依頼を行っている。また自治会回覧で住民への周知について協力依頼を行っている。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割) 法定外道路(本納)他1路線については、地元調整に不測の日数を要したため、工事費を繰越した。引続き完成に向けて事業を進める。幹線道路、生活道路の整備は、1級15号線他5路線の工事を実施し、安全・安心に通行出来る道路整備が行えた。また1級8号線に関しては、路線測量、道路詳細設計を実施した。 住民要望は増加しており要望に対する進捗率が図れない状況であり、事業費増による対策が必要である。									
	企画政策課での評価とその理由									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割～7割) 本事業は、道路利用者の安全・安心な通行に資する事業と認められる。引き続き、地元調整等に取り組むとともに、利用者の安全性及び利便性の向上を図るものとする。また、増加する住民要望に対しても、今後とも理解が得られるよう丁寧な説明に努めていただきたい。									
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	道路改良箇所数					整備率(着手箇所／要望箇所)				
	令和3年度における具体的な目標 ○水害対策 一宮川改修工事に伴い必要となる明治橋の架け替えについて、詳細設計等を実施し、早期完成を目指す。 ○幹線道路、生活道路の整備 1級8号線の整備に向けて、不動産鑑定評価、物件調査を実施し、路線の用地買収に着手する。					令和3年度における事務事業スケジュール ○水害対策 委託を上半期に発注する。 ○幹線道路、生活道路の整備 不動産鑑定評価、物件調査を上半期に発注し、早期に用地交渉する。				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路舗装新設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	02	道路舗装新設事業

実施計画整理番号	
301010102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
P L A N (計 画) 道路利用者が安心・安全に通行できるように道路整備を行う。	未舗装道路の舗装工事の実施
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
予定している3路線について、早期発注を目指す。	予定している3路線について、上半期中の工事発注を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	6,036	7,976	7,976	6,036	9,872	6,070	1,650	5,150	5,143	1,650	5,500	5,427
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,036	7,976	7,976	6,036	9,872	6,070	1,650	5,150	5,143	1,650	5,500

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道路舗装新設工事	1,650	5,500	5,427	計画工事を完了させた。 今後も引き続き事業を進める。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,650	5,500	5,427	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

3-8067(早野)ほか3路線の工事を実施した。 道路舗装新設工事 L=180.0m

D
O
(
実
施
)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010102
3	01	01	01	道路舗装新設事業	7	01	03	02	道路舗装新設事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	道路舗装整備延長距離 180m				整備率 47,181m/73,048m 65.15%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。		A:有効である 生活道路における未整備路線を安全・安心に利用できるような整備が図られた。		A:効率的である 事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図った。			
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	B:実現に向けて取り組んでいる 自治会回覧を行っている。		B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。		B:実現に向けて取り組んでいる 自治会長や関係者と協議を行っている。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		予定路線の整備が図れた。 住民要望は増加しており、要望に対して進捗が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。					
	企画政策課での評価とその理由							
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		道路利用者の安全・安心な通行に成果があったと認められる。引き続き、計画的な道路整備を実施することで、道路利用者の安全・安心を図るとともに、住民からの要望について丁寧な対応に努めていただきたい。					
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定				令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	道路舗装延長距離				整備率			
令和3年度における具体的な目標				令和3年度における事務事業スケジュール				
設計書のストックを作成する。				予算が確保出来次第早急に発注できるように準備する。				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	道路橋梁維持補修費

実施計画整理番号	
301010103	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
生活環境の保全及び交通の円滑化と事故防止のため、道路補修を実施する。	道路舗装の点検を行い、それを基に修繕計画を作成し計画的に修繕を実施する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
起債事業を活用し、道路舗装修繕を行う。	路面性状調査の結果を基に、早急な修繕が必要な区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	198,911	214,107	134,842	224,000	138,061	136,947	116,520	86,429	85,034	106,956	95,155	93,982	
財源内訳	国補助	千円	97,042	97,042	19,496	113,300	16,892	16,417	31,090	2,196	2,178	28,894	5,354	5,390
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	71,400	71,400	72,300	83,400	77,200	74,700	59,800	19,900	19,700	58,200	33,400	32,700
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	30,469	45,665	43,046	27,300	43,969	45,830	25,630	64,333	63,156	19,862	56,401	55,892

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道路長寿命化修繕計画業務	0	2,261	2,261	各修繕計画に基づき補修を実施。今後も点検結果に基づき長寿命化を図っていく。
②	道路付属物・のり面設計業務	0	0	0	
③	道路付属物・のり面補修工事	0	0	0	
④	幹線道路(市道1・2級)の舗装補修工事	94,802	12,166	11,715	引続き、道路の舗装補修を実施していく。
⑤	生活道路(市道3級・法定外)の舗装・維持補修工事	1,177	55,674	55,395	当該年度の補修予定箇所は概ね執行済出来た。施設の老朽化による突発的な破損や補修が頻発するが、引き続き、道路の舗装・維持補修工事を実施していく。
⑥	道路補修用資機材の調達・保守	10,977	15,241	14,798	当該年度の機材等は概ね調達出来た。継続的に補修用資機材を調達し、道路の維持補修を実施していく。
⑦	トンネル設計業務	0	9,813	9,813	修繕計画に基づき補修設計業務を発注した。引き続き計画に沿って修繕を進めていきたい。
⑧	トンネル修繕工事	0	0	0	
⑨					
⑩					
事業費計		106,956	95,155	93,982	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・道路舗装補修工事 7箇所
- ・道路維持補修工事 25箇所
- ・常温合材・加熱アスファルト・U字溝等購入
- ・トンネル補修設計業務 1件

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010103
3	01	01	01	道路橋梁維持補修費	7	01	02	02	道路橋梁維持補修費	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
	道路舗装補修箇所数 11箇所 道路維持補修箇所数 6箇所					交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数 舗装補修 7箇所 維持補修 25箇所						
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である		市が管理する道路等のインフラ施設であり、市が修繕する必要がある。		A:有効である		道路舗装及び維持補修を実施することで交通の円滑化と事故防止が図られた。		B:やや効率的である		道路舗装及び維持補修が一部にとどまっている為。	
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由					
	C:実現の余地がない		道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。		C:実現の余地がない		道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。		C:実現の余地がない		道路の維持補修工事であり、取り組む余地がない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点											
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		当該年度の執行は概ね予定通りであったが、道路舗装の補修をすべき箇所が多数残っている。									
	企画政策課での評価とその理由											
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		当初の予定どおりに事業実施されていることから一定の成果が挙げられていると認められる。引き続き、補修が必要な個所の把握に努め、計画的な事業実施を進めていただきたい。									
政策調整会議での評価とその理由												
庁議における方針												
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定						
	道路舗装補修箇所数 2箇所 道路維持補修箇所数 5箇所					交通の円滑化と事故防止が図られた箇所数(修繕が完了した箇所数) 道路舗装補修整備率 174(完了・一部完了)/246(要望累計) = 70.7% 道路維持補修整備率 490(完了・一部完了)/567(要望累計) = 86.4%						
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール							
補助事業、起債事業を活用し、道路インフラ施設の修繕を行う。					路面性状調査の結果を基に、早急な修繕が必要な区間を優先的に補修し、安心・安全な通行を保つ。							

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	02	02	橋梁長寿命化修繕事業

実施計画整理番号	
301010104	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
市管理の橋梁について、計画的な予防保全的維持管理に転換を図り、長寿命化によるコスト縮減と併せて地域の道路網の安全性と信頼性を向上させる。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、順次橋梁の修繕を実施し、定期的に橋梁点検を行う。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。	「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	164,993	147,580	147,507	197,550	189,806	164,008	95,781	143,234	82,881	15,000	203,001	144,578	
財源内訳	国補助	千円	90,745	81,168	81,114	108,652	95,172	86,310	52,679	52,679	39,484	8,250	84,652	78,016
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	59,000	52,900	52,000	80,000	74,800	53,400	31,000	31,000	29,000	6,000	66,500	46,000
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	15,248	13,512	14,393	8,898	19,834	24,298	12,102	59,555	14,397	750	51,849	20,562

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	点検業務	15,000	28,820	28,820	R元年度23橋(繰越)、R2年度10橋の点検が完了。継続的に橋梁点検を実施していく。
②	修繕・耐震工事の設計業務	0	12,871	12,870	3橋の橋梁補修設計を実施。引き続き、修繕計画に基づき設計業務を実施していく。
③	長寿命化修繕及び耐震工事	0	161,310	102,888	R元年度2橋(繰越)、R2年度4橋の橋梁修繕を実施(うち1橋R3へ繰越)。引き続き、修繕計画に基づき修繕を実施していく。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		15,000	203,001	144,578	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・橋梁点検業務委託 33橋(R2年度繰越23橋、R3年度10橋)
- ・橋梁補修設計業務委託 3橋
- ・橋梁修繕工事 6橋(R2年度繰越2橋、R3年度4橋うち1橋繰越)

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	301010104
3	01	01	01	橋梁長寿命化修繕事業	7	01	02	02	橋梁長寿命化修繕事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	橋梁点検 33橋(R2年度繰越23橋、R3年度10橋) 橋梁補修設計 3橋 橋梁修繕工事 6橋(R2年度繰越2橋、R3年度4橋うち1橋繰越)					道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数 (橋梁補修設計 3橋、橋梁修繕工事 4橋)				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	A:妥当である 市が管理する橋梁の為、市が主体的に修繕を行う必要がある。			A:有効である 橋梁の点検及び補修設計により、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に寄与した。			B:やや効率的である 市管理橋梁の修繕工事が一部とどまったため。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	C:実現の余地がない 橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。			C:実現の余地がない 橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。			C:実現の余地がない 橋梁修繕工事であり、実現の余地がない。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)			当該年度の執行は概ね予定通りであったが、市で修繕すべき橋梁が多数残っている。						
	企画政策課での評価とその理由									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)			概ね計画どおりに進捗しており、一定の成果があったと認められる。引き続き、計画的な維持管理を実施することで、地域の道路網の安全性と信頼性の向上に努めていただきたい。						
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										
A C T (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。 ・橋梁点検 26橋 ・橋梁補修設計 2橋 ・橋梁修繕工事 4橋(R2繰越1橋+R3年度3橋)					道路網の安全性と信頼性を向上できた箇所数 着手率:94%(15橋/16橋)※Ⅲ判定以上 修繕率:88%(14橋/16橋)				
	令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール				
国の補助金を活用し橋梁の点検・補修設計・修繕工事を行う。					「橋梁長寿命化修繕計画」に基づいた事業遂行を図る。					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(乗川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

実施計画整理番号	
302010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	令和2年度の具体的な目標
	令和2年度スケジュール
	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。
	河川改修に必要な用地取得を進める。
	・用地買収1件を進める。(繰越事業) ・護岸詳細設計(繰越事業)
	・用地(12月～3月) ・設計(令和元年度繰越～12月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	7,880	19,382	11,627	11,880	5,537	5,537	13,400	40,881	3,795	0	40,672	39,481	
財源内訳	国補助	千円	2,626	2,626	3,428	3,960	1,461	1,461	4,466	4,466	1,265	0	9,735	9,735
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	4,700	4,700	6,200	7,100	2,700	2,700	8,000	8,000	2,200	0	27,240	26,600
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	554	12,056	1,999	820	1,376	1,376	934	28,415	330	0	3,697	3,146

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	護岸詳細設計	0	4,487	4,487	護岸詳細設計を実施した。
②	橋梁架替工事	0	0	0	
③	用地補償	0	36,185	34,994	河川拡幅用地として1件(180.54㎡)を取得した。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		0	40,672	39,481	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
下流域の護岸詳細設計の実施 河川拡幅用地の取得	

DO
(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(乗川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号
302010201

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	河川拡幅用地として、1件、1筆(180.54㎡)を取得。		令和2年度末時点の用地取得率を約63%まで向上させた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全。	A:効率的である	国の社会資本整備総合交付金により実施。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	その他	今後の事業進捗に伴い、必要に応じて説明会等を実施する。	その他	今後の事業進捗に伴い、必要に応じて説明会等を実施する。	その他	今後の事業進捗に伴い、地元自治会や関係者の意見を聴取する。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	河川拡幅用地 1件・1筆180.54㎡)を取得し一定の成果はあったが、早期の工事着工が地元から求められている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図るため、今後とも計画的かつ効率的な事業実施に努めていただいた。				
政策調整会議での評価とその理由						
(斜線表示)						
庁議における方針						
(斜線表示)						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・千葉県による赤目川改修事業の整備促進。		・赤目川改修事業の進捗。	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
・県への要望活動		・要望(9月)		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(梅田川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

実施計画整理番号	
302010202	
総合戦略 整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)
	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	令和2年度の具体的な目標
	令和2年度スケジュール
流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る。	
(仮)早野排水機場の設置を行う。	
早野排水機場樋管工事の完了(繰越事業) 早野排水機場本体工事の完了(2か年工期) 早野排水機場函渠工事の完了(繰越事業) 早野排水機場ポンプ設備工の工事着手	
早野排水機場樋管工事(令和元年度繰越～4月) 早野排水機場本体工事(令和元年度繰越～12月) 早野排水機場函渠工事(令和元年度繰越～10月) 早野排水機場ポンプ設備工事(7月～R4.3月)	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	48,314	45,713	12,213	142,500	145,549	124,840	171,964	447,017	89,058	855,743	959,872	595,264	
財源内訳	国補助	千円	16,000	16,000	3,744	47,500	47,256	41,455	57,322	57,322	29,686	285,247	306,520	198,421
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	29,000	29,000	6,900	85,500	87,100	76,600	103,200	103,200	53,400	513,400	551,760	357,100
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,314	713	1,569	9,500	11,193	6,785	11,442	286,495	5,972	57,096	101,592	39,743

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	早野排水機場整備	855,743	920,309	555,701	函渠工、樋管工、本体工等を実施した。また、ポンプ設備工、建築工に着手した。
②	河川改修【梅田川】	0	39,563	39,563	護岸詳細設計、橋梁詳細設計、地質調査等を実施した。今後、橋梁工事等の着手を目指す。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		855,743	959,872	595,264	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

早野排水機場の管渠工、樋管工、本体工、流入水路工(その1)、下水道管布設替え、擁壁工を実施
 早野排水機場のポンプ設備工、建築工、流入水路工(その2)を実施
 護岸詳細設計、橋梁詳細設計を実施
 測量、地質調査を実施

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	02	01	02	河川改修事業(梅田川)

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	03	01	河川改修事業

整理番号
302010202

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況
早野排水機場の樋管工事の完了(繰越事業) 早野排水機場の本体工事の完了(2か年工期) 早野排水機場の函渠工事の完了(繰越事業) 早野排水機場のポンプ設備工事の実施(2か年工期) 早野排水機場の建築工事の実施(2か年工期) 早野排水機場の流入水路工事の実施(2か年工期)	令和4年度中の早野排水機場設置に向けて工事を実施

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である	安全で豊かな地域社会の保全に資する。	A:効率的である	国の社会資本整備総合交付金により実施。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会や自治会回覧で計画及び進捗状況の説明に努めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会や自治会回覧で計画及び進捗状況の説明に努めている。	B:実現に向けて取り組んでいる	一宮川流域浸水対策協議会において、事業評価や改善検討を行っている。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	早野排水機場の樋管工事、本体工事等の完了及びポンプ設備工事、建築工事等に着手でき一定の成果があった。課題としては、今後も工事費に多額の費用が必要となる。

企画政策課での評価とその理由	
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する事業と認められる。引き続き、地域住民への説明に努めるとともに、計画的な事業実施に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定
早野排水機場整備に係る工事執行	令和4年度中に早野排水機場を設置

令和3年度における具体的な目標	令和3年度における事務事業スケジュール
早野排水機場のポンプ設備工事の完了(2か年工期) 早野排水機場の建築工事の完了(2か年工期) 早野排水機場の流入水路工事の完了(2か年工期)	早野排水機場ポンプ設備工事(令和2年度繰越~令和4年3月) 早野排水機場建築工事(令和2年度繰越~10月) 早野排水機場流入水路工事(令和2年度繰越~8月)

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

実施計画整理番号	
304030101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
合併処理浄化槽設置促進について、単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置に対する補助制度を継続するとともに、浄化槽の機能を発揮させるため設置者への指導や広報紙等による啓発を行い、公共用水域の水質汚濁防止に努める。	単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換設置する市民に対し補助金を交付する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
単独処理浄化槽からの転換18基、くみ取り便槽からの転換7基を実施する。	14月ウェブサイト掲載 14月10日広報掲載 14～3月補助金受付

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,190	9,190	7,240	9,190	9,190	7,090	13,448	13,448	12,380	13,448	15,284	12,766	
財源内訳	国補助	千円	1,750	1,750	0	1,750	1,750	980	2,616	2,616	2,906	2,616	3,548	3,061
	県補助	千円	3,720	3,720	0	3,720	3,720	2,880	5,416	5,416	4,737	5,416	5,868	4,852
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,720	3,720	7,240	3,720	3,720	3,230	5,416	5,416	4,737	5,416	5,868	4,853

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	合併処理浄化槽の設置促進	13,448	15,284	12,766	設置補助22基、一定の成果を挙げた。引き続き促進を図る。
②	広報による浄化槽の適正管理の推進	0	0	0	概ね達成できた。引き続き推進する。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		13,448	15,284	12,766	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

令和2年度合併処理浄化槽設置整備補助金
 単独処理浄化槽から転換
 5人槽432,000円×1基=432,000円/5人槽612,000円×16基=9,792,000円/7人槽514,000円×1基=514,000円
 くみ取り便槽から転換
 5人槽432,000円×1基=432,000円/5人槽532,000円×3基=1,596,000円

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	03	01	合併処理浄化槽設置促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	02	浄化槽対策事業

整理番号
304030101

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況 令和2年度合併処理浄化槽補助基数 22基 単独処理浄化槽から転換:5人槽17基、7人槽1基 くみ取り便槽から転換:5人槽4基	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況 水質汚濁防止が図られた処理人口 66人
---	---

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換をする市民に対し補助金を交付した。	A:有効である	生活排水対策として、地域・建物の用途を定め合併処理浄化槽への転換設置者に対し助成を行い、公共用水域の水質汚濁防止を推進した。	A:効率的である	浄化槽の機能を発揮させるため、設置者への指導や広報紙等による啓発を行った。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	広報やウェブサイトにより制度の概要について周知している。	C:実現の余地がない	市民等の参加事業ではない。	C:実現の余地がない	市民等の協働事業ではない。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	合併処理浄化槽への転換補助により、公共用水域の水質汚濁の防止のための生活排水対策を促進し、一定の成果を挙げた。引き続き事業の推進を図る必要がある。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	一定の成果があったと認められる。引き続き、補助制度の周知を図り、公共用水域の水質汚濁防止に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定 補助基数	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定 水質汚濁防止が図られた処理人口
-------------------------------------	---

令和3年度における具体的な目標 単独処理浄化槽からの転換18基、くみ取り便槽からの転換7基を実施する。	令和3年度における事務事業スケジュール 4月ウェブサイト掲載 4月10月広報掲載 4～3月補助金受付
---	--

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

実施計画整理番号	
304040101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
幹線排水路及び生活排水路を計画的に整備することにより、排水不良の解消及び住環境の整備を図る。	茂原市排水基本計画に基づき排水施設の整備を進める。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
排水路整備1箇所の実施	排水路整備(5月～3月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	21,264	29,660	28,053	40,044	34,846	30,823	18,800	33,596	32,221	14,400	8,272	7,115	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	15,900	15,900	21,000	30,000	25,900	23,100	14,100	14,100	16,200	10,800	4,200	3,800
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,364	13,760	7,053	10,044	8,946	7,723	4,700	19,496	16,021	3,600	4,072	3,315

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	幹線排水路の整備	0	0	0	
②	支線排水路の整備	14,400	0	0	
③	長谷字殿辺田地先	0	3,269	2,750	計画した排水路整備が完了した。
④	国府関字殿谷地先	0	2,662	2,024	計画した排水路整備の測量業務を実施した。継続して排水路整備を実施していく。
⑤	早野地先	0	2,341	2,341	計画した排水路整備が完了した。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		14,400	8,272	7,115	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・長谷字殿辺田地先 整備延長 L=41.5m
- ・国府関字殿谷地先 路線測量 L=0.16km 用地測量 L=0.16km
- ・早野地先 整備延長 L=47.3m

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	02	排水整備事業

整理番号
304040101

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	排水不良箇所の整備箇所数 2箇所		整備率(着手率) 108/192箇所 57%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	排水不良が解消され生活環境の向上に資する。	A:有効である	排水不良が解消された。	B:やや効率的である	事業箇所の選択と集中を行い、コスト削減を図る必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会回覧を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる	地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	B:実現に向けて取り組んでいる	自治会長や関係者と協議を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	予定箇所の整備が図られた。地域住民からの整備要望が多く、要望に対して進捗が図れない状況である。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	排水不良の解消及び住環境の整備に一定の効果があったと認められる。引き続き、計画的な事業実施を図るとともに、地域住民への丁寧な説明に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	排水不良箇所の整備箇所数		整備率(着手率)	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
排水路整備1箇所の実施		排水整備(9月～3月)		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	内水対策関連事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業

実施計画整理番号	
304040102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
平成25年の台風26号並びに令和元年10月25日の大雨による浸水被害に対し、床上床下被害を大幅に軽減することを目標に対策を行う。	床上床下の浸水被害が大きい地区の水門に排水ポンプ施設を設置し早期に被害軽減を図る。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
長清水水門のポンプ設備工事の完了 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事の完了(繰越事業)	長清水水門のポンプ設備工事(6月～3月) 鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事の完了(令和元年度繰越～6月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算										
事業費	千円	220,702	333,616	124,913	107,861	337,669	281,429	399,597	386,693	189,218	139,510	368,717	355,566	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	32,000	32,000	18,000	32,000	64,000	32,000	32,000	32,000	32,000	54,296	147,436	98,142
	市債	千円	141,500	141,500	80,100	56,800	205,300	187,000	275,600	275,600	140,800	63,900	184,800	183,500
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	47,202	160,116	26,813	19,061	68,369	62,429	91,997	79,093	16,418	21,314	36,481	73,924

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	長清水水門(排水ポンプ設置)	139,510	295,236	283,055	排水ポンプ設備工事が完了した。
②	鷺巣稲荷前水門(排水ポンプ設置)	0	49,952	49,952	排水ポンプ整備に係る躯体工事が完了した。引き続き、設備工事を実施し被害軽減を図る。
③	上永吉冬田地区	0	0	0	
④	東茂原地区	0	0	0	
⑤	早野明光地区	0	0	0	
⑥	内水対策検討	0	14,597	14,474	令和元年10月25日の大雨に対する総合的内水対策検討業務を実施し、今後の対策方針を取りまとめた。
⑦	高師地区	0	8,932	8,085	排水路整備に係る実施設計、用地測量、地質測量を実施した。
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		139,510	368,717	355,566	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・長清水水門のポンプ電気盤設置工事を実施
- ・長清水水門のポンプ機械設備工事を実施
- ・長清水水門のポンプ電気設備工事を実施
- ・長清水水門のポンプ試運転調整工事を実施
- ・鷺巣稲荷前水門のポンプ躯体工事を実施
- ・令和元年10月25日の大雨に対する総合的内水対策検討を実施
- ・高師地区の排水路実施設計、用地測量、測量を実施

PLAN
(計画)

DO
(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	内水対策関連事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	02	02	01	内水対策関連事業

整理番号
304040102

	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況	
	長清水水門のポンプ設備工事の完了 鷺巣稲荷前水門のポンプ駆体工事の完了(繰越事業)	長清水水門のポンプ設備工事の完了 鷺巣稲荷前水門のポンプ駆体工事の完了	
	妥当性の評価とその理由	有効性の評価とその理由	効率性の評価とその理由
	A:妥当である 流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する。	A:有効である 安全で豊かな地域社会の保全に資する。	B:やや効率的である 事業箇所の選択と集中により、効率の向上が見込める余地がある。
	「情報の共有」の状況とその理由	「参加」の状況とその理由	「協働」の状況とその理由
	B:実現に向けて取り組んでいる 自治会回覧等において整備に関する説明を行っている。	B:実現に向けて取り組んでいる 自治会等から整備に関する意見を受けている。	B:実現に向けて取り組んでいる 地元調整が必要な事案について、自治会等と協議を行っている。
CHECK (評価)	所管による評価とその理由、課題・問題点		
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	長清水水門のポンプ設備工事が完了した。 鷺巣稲荷前水門のポンプ駆体工事が完了した。 課題としては、今後も内水排除ポンプなどの施設整備に多額の費用を要することが考えられる。	
	企画政策課での評価とその理由		
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	流域の浸水被害を軽減し、治水安全度の向上に資する事業と認められる。引き続き、地域住民と意見交換を図りながら計画的かつ効率的な事業実施に努めていただきたい。	
政策調整会議での評価とその理由			
庁議における方針			
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	内水排除ポンプ設置(鷺巣稲荷前水門)排水ポンプ設備工事の実施 1箇所	内水排除ポンプ設置	
	令和3年度における具体的な目標	令和3年度における事務事業スケジュール	
	鷺巣稲荷前水門の排水ポンプ設備工事の工事着手	鷺巣稲荷前水門排水ポンプ設備工事(9月～令和4年8月)	

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	05	道路排水新設事業

実施計画整理番号	
304040103	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	道路利用者の安全性を確保するために、道路排水不良箇所の整備を行う。	道路排水整備工事の実施
	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
	3級6051号線他予定された箇所について、早期発注を目指す。	予定している2路線について上半期の発注を行う。 また繰越明許した1路線については早期に発注する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	9,951	17,538	17,445	5,622	19,149	14,405	7,040	17,293	16,097	6,600	27,596	26,404	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	14,300	10,800	5,200	5,200	7,700	4,900	4,100	18,600
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	9,951	17,538	17,445	5,622	4,849	3,605	1,840	12,093	8,397	1,700	23,496	7,804

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	道路排水整備事業	6,600	27,596	26,404	計画工事を完了させた。 引続き事業を進める。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		6,600	27,596	26,404	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

3-5008(渋谷)ほか6路線の工事を実施した。 道路排水新設工事 L=574.3m

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	04	04	01	道路排水整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	03	05	道路排水新設事業

整理番号
304040103

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	排水不良箇所の整備箇所数 3箇所		整備(着手)率 89箇所/356箇所 25.00%			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備をした。また、市民からの要望も多い。		A:有効である 排水不良箇所の解消が図れた。		A:効率的である 事業箇所の選択・集中を行い、コスト削減を図った。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	B:実現に向けて取り組んでいる 自治会回覧を行っている。		B:実現に向けて取り組んでいる 地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。		B:実現に向けて取り組んでいる 自治会長や関係者と協議を行っている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		線越、当初及び補正予算の予定路線の整備が図れた。複数路線を継続して実施しているが、住民要望は増加しており、要望に対して進捗が図れない状況であり、事業費の増による対策が必要である。			
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		道路利用者の安全性の確保に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、地元自治会及び関係者との協議により、計画的・効率的な事業実施に努めていただきたい。			
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	排水不良箇所の整備箇所数		整備(着手)率	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
3級6051号線について、早期発注を目指す。		予定している1路線について上半期の発注を行う。		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	02	03	緑化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	02	緑化推進事業

実施計画整理番号	
305020301	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
緑のある美しいまちづくりを進めるため、公共施設へ緑や花の植栽に努めるとともに、自治会等に市の花コスモスの種子を配布するなど、全市的な「花いっぱい運動」を展開し、普及を図ることを目標とする。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への緑や花の植栽 自治会等に市の花コスモスの種子配布 花いっぱいコンクールの実施
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 茂原駅ロータリー、公民館前の花壇への植栽 公共施設等に草花を配布 自治会等に市の花コスモスの種子を配布 花いっぱいコンクールを年2回(春・秋)開催 花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設への草花の植栽(通年) 自治会等に市の花コスモスの種子の配布 花いっぱいコンクールの実施(春・秋) 花いっぱい運動推進協議会の運営(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	2,331	2,331	2,298	2,269	2,257	2,246	2,316	2,316	2,125	2,290	2,302	2,196
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	10	10	10	10	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,321	2,321	2,288	2,259	2,257	2,246	2,316	2,316	2,125	2,290	2,302

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	公共施設や商店会への緑や花の植栽	1,730	1,698	1,675	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	自治会等に市の花コスモスの種子配布	388	431	431	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	花いっぱいコンクールの実施	82	83	0	コロナ禍により中止。
④	花いっぱい運動推進協議会の運営	90	90	90	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,290	2,302	2,196	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 茂原駅南口東口ロータリー花壇及び庁舎南側駐車場花壇等への草花の植栽及び公共施設等に草花を配布した。
- 自治会等に市の花コスモスの種子を配布した。(160L)
- 花いっぱい運動推進協議会の活動を支援するため補助金を交付した。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	305020301
3	05	02	03	緑化推進事業	4	01	06	02	緑化推進事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への草花の植栽(12,558苗) ・自治会等に市の花コスモスの種子を配付(160L) ・花いっぱい運動推進協議会の運営 				<ul style="list-style-type: none"> ・地域の花壇数(15箇所) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	公共施設へ草花を植栽し、緑ある美しいまちづくりを推進した	A:有効である	自治会等に市の花コスモスの種子を配付することで、全市的な運動を展開した。	A:効率的である	千葉県まちづくり公社から寄付を受けた花苗を自治会等に配布するなど有効活用した。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	広報紙や市公式ウェブサイトでコンクールの周知を図った。	その他	コロナ禍により、花いっぱいコンクールが中止。	A:実現している	花いっぱい運動推進協議会と連携し取り組んだ。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	各種取り組みを通じて市民意識の高揚を図ることで緑化推進に成果をあげることができた。花いっぱいコンクールの参加者の増加に取り組む必要がある。							
企画政策課での評価とその理由								
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、緑化推進に一定の成果があったと認められる。今後は、更に市民が環境への意識を高める方法など、調査・研究していただきたい。							
政策調整会議での評価とその理由								
(この欄は斜線が入ります)								
庁議における方針								
(この欄は斜線が入ります)								

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定				令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への草花の植栽数 ・自治会等へ配付した市の花コスモスの種子の量 ・花いっぱいコンクールの実施回数 				<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱいコンクール参加者数 ・地域の花壇数 			
令和3年度における具体的な目標				令和3年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・茂原駅南口東口ロータリー花壇及び庁舎南側駐車場花壇等への植栽 ・公共施設等に草花を配付 ・自治会等に市の花コスモスの種子を配布 ・花いっぱいコンクールを年2回(春秋)開催 ・花いっぱい運動推進協議会の活動支援のため補助金の交付 				<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設への草花の植栽(通年) ・自治会等に市の花コスモスの種子の配付 ・花いっぱいコンクールの実施(春秋) ・花いっぱい運動推進協議会の運営(通年) 				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	03	都市公園等維持補修事業

実施計画整理番号	
305030101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 公園内の遊具・施設について、適切な維持管理を行い、子供たちが楽しく、安心して遊べるようにする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 老朽化した遊具・施設を計画的に補修・更新していく。
PLAN (計画)	
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
子どもたちが楽しく安心して遊べるように施設点検に努め、適切な維持管理を行う。 ①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件	維持補修計画を立て、各事業を進める。 ①各種公園の補修工事1件 ②各種公園の遊具設置工事1件

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	2,571	2,853	2,798	4,276	9,763	9,583	10,308	9,836	9,632	3,206	3,179	3,097	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	1,728	1,652	5,292	5,292	5,022	0	0	0
	一般財源	千円	2,571	2,853	2,798	4,276	8,035	7,931	5,016	4,544	4,610	3,206	3,179	3,097

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	富士見公園の施設整備	0	0	0	
②	各公園の老朽施設の補修	2,645	528	528	公園の補修工事2件完了。今後も適正な維持管理に努める。
③	各公園の老朽遊具の更新	561	0	0	
④	茂原公園の施設整備	0	2,651	2,569	公園の施設設置工事2件完了。今後も継続して整備に努める。
⑤	萩原公園の施設整備	0	0	0	
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		3,206	3,179	3,097	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
①各種公園の補修工事2件(4公園) ②各種公園の施設設置工事2件(1公園)	

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	都市公園等維持補修事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	03	都市公園等維持補修事業

整理番号
305030101

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	①各種公園の補修工事2件(4公園) ②各種公園の施設設置工事2件(1公園)		老朽化した施設の改修と利用者の安全と快適な環境の充実を図ることができたが、新型コロナウイルスの影響により公園利用者数5,942人の減少、前年度比67.6% (萩原公園)			
	妥当性の評価とその理由 A:妥当である 公園の適正な維持管理をするため、公共事業で施工管理する必要がある。		有効性の評価とその理由 A:有効である 公園施設の安全は保たれ、事業成果は確実に得られている。		効率性の評価とその理由 A:効率的である 日常の点検管理を行い、将来的なコスト増大にならないよう予防保全的な維持管理に努める。	
	「情報の共有」の状況とその理由 C:実現の余地がない 施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。		「参加」の状況とその理由 C:実現の余地がない 施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。		「協働」の状況とその理由 C:実現の余地がない 施設の整備補修工事であり、取り組み余地がない。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		安全性を求められる公園施設の補修について速やかに対応できた。利用者の安心安全な公園維持のため、計画的な維持管理が必要がある。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少はあったものの、各取組により、公園利用者の安全性が図られ、一定の成果があったものと認められる。引き続き、適切な維持管理を行うことで、利用者の利便性向上に努めていただきたい。			
	政策調整会議での評価とその理由					
	(Blank area for policy adjustment meeting evaluation)					
庁議における方針						
(Blank area for council policy)						
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	各種公園の補修工事2件		工事を実施した結果、安心して利用できるようになる。			
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール				
子どもたちが楽しく安心して遊べるように施設点検に努め、適切な維持管理を行う。 ・各種公園の補修工事2件		維持補修計画を立て、各事業を進める。 ・各種公園の補修工事2件				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	05	03	01	茂原公園再生事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	03	05	茂原公園再生事業

実施計画整理番号	
305030102	
総合戦略整理番号	32103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
茂原市の中心的都市公園である茂原公園を、利用者の増大につながる公園整備の推進と他部門部署と連携したイベントを開催する。また、さくらの点検及び外科治療を継続的に実施し、樹勢回復に努める。	公園内の施設やさくらの樹勢回復などの環境を整備し、ソフト面では、健康づくりのためのウォーキング、体験で学習する場の提供など関係団体と連携しつつ事業を推進する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
職員による適正管理と樹木医による外科治療を実施し、樹勢の回復に努める。 ・茂原公園サクラの点検・管理の実施(全サクラ対象) ・茂原公園サクラの外科治療の完了(治療計画353本の終了) 茂原公園弁天湖護岸改修詳細設計	茂原公園サクラ育成管理等指導業務委託(毎月) 現場職員におけるサクラの育成管理 茂原公園サクラ外科治療業務委託(冬期) 茂原公園弁天湖護岸改修詳細設計業務委託

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	3,484	3,484	3,484	1,720	1,729	1,729	12,856	12,755	10,532	8,990	11,582	10,373	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000	3,942	3,565	4,207	3,586
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	4,500	4,500	3,500	3,200	3,700	3,200
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,484	3,484	3,484	1,720	1,729	1,729	3,356	3,255	3,090	2,225	3,675	3,587

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	多世代が行き交う公園の改修	7,130	8,415	7,206	茂原公園弁天湖護岸改修詳細設計業務委託の完了。今後も継続して事業を進めていく。
②	茂原公園の桜の再生	1,860	3,167	3,167	市職員が適正な維持管理方法を取得するため樹木医から指導を得た。今後も継続して事業を進めていく。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		8,990	11,582	10,373	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

茂原公園サクラ育成管理等指導業務委託 (外科治療を行った桜について、市職員が適正な維持管理方法を習得するため樹木医から指導を得た)
 茂原公園サクラ外科治療業務委託 43本

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	305030102
3	05	03	01	茂原公園再生事業	7	03	03	05	茂原公園再生事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	茂原公園サクラの点検(全サクラ対象) 茂原公園サクラの外科治療本数 外科治療43本					<ul style="list-style-type: none"> ・茂原公園内のサクラの外科治療が進んだ。 治療実施率 96.2% (治療済み353本) ・茂原公園の利用者数 65,000人 ・弁天湖護岸工事の進捗 60% 				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である	茂原公園のサクラの再生は、観光地としての魅力向上や多世代が集う場として公園再生に結びつくものである。			A:有効である	サクラの外科治療により樹勢回復の成果が確実に得られ有効性がある。		A:効率的である	茂原公園再生にかかる経費削減は避けられないが、今後の経費増大にならないよう予防保全に努めた。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	その他	茂原公園再生計画における予定年度とは整合しておらず、情報の共有が難しい。			B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組が計画されている。		B:実現に向けて取り組んでいる	茂原公園再生計画に、市民参加型のソフト事業の取組が計画されている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	日本さくらの名所100選として、さくらの魅力の再生や知名度の向上を図るため、さくらの点検調査や外科治療の成果は得られていると考える。しかし、茂原公園再生計画における観光地としての魅力向上や多世代の来園者の増大につなげるためには、ハード整備による環境を整えることが必要不可欠であると考えます。								
	企画政策課での評価とその理由									
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	茂原公園の環境整備を実施することで利用者の増加に一定の成果を挙げていると認められる。今後も計画的な環境整備を実施するとともに、ソフト面で関係機関と連携することにより、どのような効果・影響があったかについてを記載することで可視化を図っていただきたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	茂原公園サクラの点検・管理(全サクラ対象) 茂原公園サクラの外科治療本数 (再治療14本) 弁天湖護岸工事の進捗					工事等を実施した結果、観光地としての魅力が向上し、安心して利用できるようになる。				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
職員による適正管理と樹木医による外科治療を実施し、樹勢の回復に努める。 ・茂原公園サクラの点検・管理の実施(全サクラ対象) ・茂原公園サクラの外科治療の完了(再治療含む367本の終了) 茂原公園弁天湖護岸改修詳細設計					茂原公園サクラ育成管理等指導業務委託(毎月) 現場職員におけるサクラの育成管理 茂原公園弁天湖護岸改修工事					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅長寿命化事業

実施計画整理番号	
306010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
PLAN (計画) 老朽化した市営住宅ストックを活用していく中で、ライフサイクルコストの削減と事業量の平準化を図りながら、効率的かつ円滑な改善を行う。	市営住宅長寿命化計画に基づき、ストック活用していく住宅に対し長寿命化型及び住居性確保型の改善を行う。 ・給水方式変更、給水設備改善 ・給湯設備改善 ・また、旧耐震基準で建設された市営住宅については、耐震診断を行う。
	令和2年度の具体的な目標
・長谷住宅2号棟の設計業務及び入居者移転の実施完了。 ・上茂原住宅のガス管入替修繕を実施完了。	(長谷住宅2号棟) ・設計業務の委託事務。 ・入居者との移転交渉及び移転補償契約の締結。 ・移転先市営住宅の修繕。 ・移転補償費の支払い。 (上茂原住宅) ・上茂原住宅のガス管入替修繕の実施。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	7,292	7,236	8,844	7,681	7,480	0	12,622	12,577
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	2,622	3,618	2,658	2,658	2,980	0	1,782	1,868
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	4,670	3,618	6,186	5,023	4,500	0	10,840

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	八幡原住宅1, 2号棟耐震診断業務委託	0	0	0	
②	長谷住宅改善工事	0	11,354	11,323	2号棟改善工事設計業務委託及び入居者移転先住居修繕、移転補償を実施した。今後、改善工事を実施する。
③	上茂原住宅浴室内ガス管入替修繕	0	1,268	1,254	老朽化したガス管の入替修繕を実施した。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		0	12,622	12,577	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・長谷住宅2号棟改善工事設計業務委託の実施。
- ・長谷住宅2号棟改善工事設計支援業務委託の実施。
- ・入居者の移転先住居修繕の実施。
- ・入居者の移転補償契約の締結、動産移転補償の支払い。
- ・上茂原住宅浴室内ガス管入替修繕の実施。

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅長寿命化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	05	市営住宅長寿命化事業

整理番号
306010101

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 長谷住宅2号棟改善工事の設計業務の実施完了。 上茂原住宅のガス管入替修繕の実施完了。 	大規模改善工事着手棟数:0棟

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	改善工事に必要な設計業務、入居者移転を実施した。	A:有効である	今後、改善工事が可能となった。	A:効率的である	改善工事を円滑に行うための準備ができた。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
その他	情報提供の必要性について検討する。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。	C:実現の余地がない	そぐわないと考える。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市営住宅長寿命化計画に基づき、長寿命化する住宅の改善工事に必要な設計業務、及び入居者移転を完了した。このことにより、長谷住宅2号棟の大規模改善工事を実施する準備が整った。また、上茂原住宅においては、老朽化したガス管の一斉入替修繕を行い、住宅の安全性を確保することができた。今後、継続的に改善工事を実施していくにあたり、工事の手法や予算確保が課題となる。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	改善工事の実施により市営住宅の長寿命化に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、効率的かつ円滑な改善に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化を行う市営住宅の改善工事の実施。 	市営住宅長寿命化計画に基づき、効率的かつ円滑な改善を行うことで、市営住宅長寿命化の推進及び入居者の利便性の向上を図る。

令和3年度における具体的な目標	令和3年度における事務事業スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 長谷住宅2号棟改善工事及び3号棟外部改善工事の実施完了。 上茂原西住宅改善工事設計業務の実施完了。 	<ul style="list-style-type: none"> (長谷住宅2・3号棟) 改善工事及び工事監理業務(9月～3月 ※2号棟改善工事は2か年)(上茂原西住宅) 設計業務委託(5月～2月)

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅集約化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅集約化事業

実施計画整理番号	
306010102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
市営住宅11住宅、管理戸数759戸のうち、老朽化が激しく、入居率の低い市営吉井住宅、および、市営国府関住宅について、住宅の集約化を図る事により、維持管理費の経費削減を図る。	市営吉井住宅、および、市営国府関住宅の入居者に対して、将来的な市の住宅施策を説明し、個別に意向確認をしながら、他の市営住宅を含めた別の住宅に転居させる。 市営吉井住宅を解体し、用途廃止する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
・台風被害の大きい真名住宅2階建の入居者16戸の移転完了。 ・国府関住宅の測量業務の他、売却のために必要となる解体工事、分筆作業の実施。	(真名住宅) ・入居者との移転交渉及び移転補償契約の締結。 ・移転先市営住宅の修繕。 ・移転補償費の支払い。 (国府関住宅) ・測量業務の実施。 ・関係課との協議、方針決定。 ・隣接民家、借地所有者へ市の方針の説明。 ・必要な解体工事、分筆作業の実施。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	7,992	10,686	10,558	2,341	6,992	6,991	45,521	45,521	44,169	0	36,564	30,014	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	38,800	38,800	38,100	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	7,992	10,686	10,558	2,341	6,992	6,991	6,721	6,721	6,069	0	36,564	30,014

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	市営吉井住宅用途廃止に伴う解体工事	0	0	0	
②	市営国府関住宅用途廃止に伴う事業	0	21,805	15,865	管財課への移管を踏まえ、用地測量業務及び不動産鑑定を実施した。
③	市営真名住宅移転事業に伴う事業	0	14,759	14,149	入居者の移転先住居の修繕、移転補償を実施した。(1世帯分の移転補償費を翌年度に繰越)
④	市営国府関住宅解体工事	0	0	0	
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		0	36,564	30,014	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

(国府関住宅)
 ・用地測量業務の実施。
 ・不動産鑑定の実施。
 ・市営住宅設置条例から国府関住宅を削除。
 ・敷地及び建造物を管財課へ移管。

(真名住宅)
 ・入居者の移転先住居修繕の実施。
 ・入居者の移転補償契約の締結、動産移転補償の支払い。

PLAN
(計画)

DO
(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	01	市営住宅集約化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	04	市営住宅集約化事業

整理番号
306010102

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・真名住宅2階建入居者16戸のうち15戸の移転完了。 ・国府関住宅は売却に向け、関係部署との協議、用地測量業務、不動産鑑定、条例改正を実施し、用途廃止した。 		市営住宅数: 10→9 管理戸数: 730→675			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A: 妥当である 総合計画及び公共施設等総合管理計画、市営住宅長寿命化計画に合致する。		A: 有効である 用途廃止すべき市営住宅において、必要な事務事業を実施できた。		A: 効率的である 老朽化が著しく、利用率の低い施設を早急に用途廃止すれば、維持管理に費やす経費の削減に繋がる。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	その他 情報提供する必要性について検討する。		C: 実現の余地がない そぐわないと考える。		C: 実現の余地がない そぐわないと考える。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		国府関住宅の用途廃止を完了し、普通財産として管財課へ移管した。真名住宅においては、15世帯の移転を完了することができた。今後、入居者の少ない真名住宅の入居者移転、用途廃止を進めるにあたり、移転先確保や跡地の利活用についての課題がある。				
企画政策課での評価とその理由						
A: 十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		各個別取組は、市営住宅の集約化に一定の成果があったと認められる。引き続き、維持管理費の削減に向けて、関係部署との連携を図っていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化を行う市営住宅の入居者の移転。 ・用途廃止後の市営住宅跡地の利活用の検討。 		・市営住宅数及び管理戸数	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・集約化を行う市営住宅の入居者移転に係る家賃補助制度の策定 ・真名住宅敷地の利活用についての検討 ・真名住宅入居者説明会の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅あり方検討委員会の開催(年3回) ・家賃補助制度の要綱策定 ・真名住宅敷地の利活用についての検討 ・真名住宅入居者説明会の開催 		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業

実施計画整理番号	
306010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 耐震性の低い木造住宅の耐震性を向上し、住民の生命、財産の保護に寄与する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 耐震性の低い木造住宅の所有者等に対し耐震相談を行い、耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を補助する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
相談会：1回令和2年8月23日(日)、2回令和2年9月25日(金)、3回令和2年10月27日(日)他3回開催(各回、耐震診断士2名を派遣)産業まつり：令和2年11月3日(火祝)耐震相談ブースを出店、相談会等の周知：広報誌への掲載、HPへの掲載、チラシの毎戸配布、耐震診断補助10件、耐震改修補助5件、危険ブロック塀補助金の交付10件	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	4,333	4,333	2,104	4,333	4,527	1,657	2,663	2,663	1,946	2,625	22,248	15,535	
財源内訳	国補助	千円	1,966	1,966	857	1,966	2,063	688	1,231	1,231	872	1,212	10,923	7,667
	県補助	千円	733	733	350	733	781	291	390	390	356	381	1,250	815
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,634	1,634	897	1,634	1,683	678	1,042	1,042	718	1,032	10,075	7,053

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	無料耐震相談会の開催	325	404	302	コロナ禍により予定回数7回に対し3回の実施で計9組受付。耐震化啓発に繋がることから次年度も継続したい。
②	耐震診断費の補助	600	1,200	580	5件に対し補助実施。次年度は耐震化アクションプログラムの一年目となることから予算上限まで実施したい。
③	耐震改修費の補助	1,200	4,000	2,026	4件に対し補助実施。次年度は耐震化アクションプログラムの一年目となることから予算上限まで実施したい。
④	コンクリートブロック塀等除却費の補助	500	1,200	637	9件に対し補助実施。耐震化率向上のため次年度も予算上限まで実施したい。
⑤	住宅耐震化緊急促進アクションプログラム等の策定	0	15,444	11,990	耐震改修促進計画及びアクションプログラムの策定を行い、R3より実施。今後5カ年を重点期間とし、耐震化率向上に努める。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,625	22,248	15,535	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・耐震相談会の実施(3回9組)
- ・耐震化への周知・啓発(チラシ作成、自治会回覧、広報誌掲載、情報誌掲載、HP)
- ・耐震診断費補助(5件)、耐震改修費補助(4件)、危険ブロック塀改善補助(9件)
- ・耐震改修促進計画の改定、アクションプログラム及び地震ハザードマップの作成
- ・耐震診断、耐震改修、ブロック塀改修補助金交付要綱の改正

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	306010201
3	06	01	02	木造住宅耐震化促進事業	7	03	01	10	木造住宅耐震化促進事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震相談会を3回実施(年間相談件数9件) ・耐震診断補助金利用者5件 ・耐震改修補助金利用者4件 ・危険ブロック塀等改修補助9件 ・耐震改修促進計画の改定、アクションプログラム及び地震ハザードマップの作成 					<ul style="list-style-type: none"> ・市内建築物耐震化率84.54% 					
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である	頻発する地震に対する耐震化率の向上を目指し、行政が市内建築物の耐震化を支援する必要がある。			A:有効である	耐震補助対象建築物の所有者が高齢化しており、高額な耐震改修費用の捻出を補助する制度は他にない。		A:効率的である	耐震相談→耐震診断→耐震改修という流れは効率的であり、耐震啓発という市民ニーズを満たしている。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	広報紙、回覧、情報誌、市公式ウェブサイトによる周知を行い、市民の目につきやすいところで積極的な周知活動を展開。			A:実現している	窓口では、いつでも補助金の相談を受付けており、相談会では参加者アンケートを実施。施策に意見を取り入れる機会を設けている。		C:実現の余地がない	個人情報を含んでおり、行政のみでしか実施できない。		
所管による評価とその理由、課題・問題点											
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	耐震改修促進計画の改定及びアクションプログラムの作成を行い、今後の耐震化への取り組み方針を決定すると共に、市民への啓発を図るため、地震ハザードマップの作成を行った。 コロナ禍での耐震相談会は回数を減らしての実施となったが、相談組数9件の受付となった。 耐震診断、改修費補助と危険ブロック塀等改修補助を実施することで、市内建築物の耐震化につながった。 今後の課題として、耐震化率向上のため、住宅所有者への直接的な啓発や補助事業の充実が求められる。										
企画政策課での評価とその理由											
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	本事業は、住民の生命、財産の保護に寄与していると認められる。引き続き、より効果的な制度周知、耐震相談会及び補助金交付を実施し、市内建築物の耐震性向上に努めていただきたい。										
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震相談会開催 ・耐震補助事業のチラシ回覧等により住宅所有者へ効果的な周知を図る。 					市内建築物耐震化率86.63%(令和2年度耐震化率84.54%)				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震相談会:1回令和3年6月27日(日)、2回令和3年8月25日(水)、3回令和3年10月22日(金)、4回令和3年12月20日(月)他1回開催(各回耐震診断士3名派遣)空き家相談会:令和3年11月14日(日)耐震相談窓口設置。相談会等の周知:広報誌、HPへの掲載、地震HMの毎戸配布、耐震化補助事業のチラシ回覧、耐震診断費補助20件、耐震改修費補助10件、危険ブロック塀補助10件 					令和3年4月から12月まで、耐震診断、改修、ブロック塀等改修費補助の受付を行う。期間中、耐震相談会を行い相談→補助の申込みを案内。耐震化率向上につながる改修・除却工事の促進を図るため周知を行う。					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	空き家等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	06	空き家対策事業

実施計画整理番号	
306010202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空き家等に関する必要な措置を適切に講ずるよう努めることにより、市民の生活環境の向上と安全安心なまちづくりをする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 空き家等対策協議会の設置 空き家等対策計画の策定及びその推進 特定空き家等への法的措置
令和2年度の具体的な目標 防災、衛生、景観等、市民の生活環境の保全を図るため、関係各課との連携及び空き家所有者への指導を強化するとともに、空き家の利活用の促進、助成制度の創設により、適切な管理が行われていない空き家の増加を防ぐ。	令和2年度スケジュール 実施計画の策定 リフォーム補助の創設 GISによる空き家台帳の整備 空き家対策協議会の開催

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	0	0	0	0	0	0	373	2,505	2,365	228	7,140	7,107
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	373	2,505	2,365	228	7,140

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	茂原市空き家等対策協議会委員報酬	195	108	108	計3回協議会を開催し、空き家対策について、各委員から意見を頂いた。今後も継続する。
②	緊急安全措置費用	33	33	0	原則空き家所有者に対応してもらうことで、緊急安全措置費用は使用しなかった。所有者が発見できない場合は必要であるため、今後も継続する。
③	空き家等対策計画策定業務委託	0	0	0	
④	空き家所有者への助言・指導	0	16	16	空き家所有者へ助言・指導を行うためカラープリンターのインク代等に使用した。今後も継続する。
⑤	財産管理人選任申立て費用等	0	6,983	6,983	申立費用1件、解体費用2件分について使用した。今後も継続する。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		228	7,140	7,107	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

茂原市空き家等対策協議会の開催3回
 茂原市空き家バンク登録物件リフォーム補助金の創設
 空き家相談対応115件
 特定空き家等に認定4件(R1は3件、計7件、うち3件は解体済み)
 不在者財産管理人の申立て1件

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	02	空き家等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	06	空き家対策事業

整理番号
306010202

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	空き家等対策協議会 3回開催 空き家相談対応件数 115件 特定空き家等認定件数 4件		空き家等対策協議会を3回開催し、空き家バンクリフォーム補助金の創設に至った。空き家相談対応件数115件に対し文書等で改善を促した結果50件が改善に結びついた。特定空き家等に4件認定し指導等を強化している。うち1件は不在者財産管理人の申立てを行い、早期解体に至った。R1年に申し立てした特定空き家等についても解体が行われた。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	H27年施行の空き家等対策の推進に関する特別措置法により、市が関与する事業である。	A:有効である	空き家所有者に対し、指導・助言等を行い、意図した成果は概ね得られている。	D:効率的ではない	空き家は増加傾向にあり、コストの増大が見込まれる。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	空き家等対策協議会を設置し、関係団体、自治会と情報共有している。また、会議内容をウェブページで公開している。	A:実現している	空き家に対する意見、相談を受け付けている。	A:実現している	地域によっては、自治会と協働し、空き家対策に向けて取り組んでいる。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	空き家に対する苦情・相談は増加傾向にある。その都度、土地家屋所有者に対し、文書等で改善を促しているが、改善状況は約半数である。また、特に状態の悪い空き家の所有者は、相続、金銭及び身体的問題を抱えているケースが多く、改善までに時間を要する。相続放棄により相続人不在の空き家が増加している。				
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	空き家の増加を抑制するための事業と認めることができる。引き続き、関係機関との連携を図り、空き家に対する助言・指導及び適切な措置を実施し、市民の生活環境の向上と安全安心なまちづくりに努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	空き家対応件数		・空き家相談改善率70%以上	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
防災、衛生、景観等、市民の生活環境の保全を図るため、関係各課との連携及び空き家所有者への指導を強化するとともに、問題を抱える空き家所有者のための相談会を実施する。また、空き家に対する所有者の意識の醸成を図るため空き家の活用方を検討する。(委託)		・空き家対策実施計画の策定 ・空き家対策協議会の開催 ・空き家相談会の開催 ・空き家活用によるまちの活性化グランドデザイン作成業務委託事務		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	03	三世帯同居等支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	03	三世帯同居等支援事業

実施計画整理番号	
306010301	
総合戦略 整理番号	31101

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
親世帯または子世帯の一方が転入し、三世帯(親・子・孫)で同居・近居をする世帯に住宅取得等の費用の一部を補助することにより、生活基盤の安定による移住・定住を促進する。また、助成の上乗せ支援による地元企業の利用促進も図る。	住宅取得等の費用の1/2を助成する。 ただし、助成額の上限は次のとおり。 新築・購入は上限80万円(市内業者が行う場合は上限100万円) 増築は上限30万円(市内業者が行う場合は上限50万円)
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
移住・定住促進により若年層の転入促進を図り、人口増加を目指す。	申請期間令和2年4月1日～令和3年2月末 周知方法：広報紙、市WEBサイト、東日本旅客鉄道の電車内への広告掲載、自治会回覧、関係団体、住宅展示場への広告配布等

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	10,000	10,000	5,800	10,000	5,200	3,200	7,000	7,000	3,700	7,000	7,000	4,800	
財源内訳	国補助	千円	5,000	5,000	2,396	5,000	1,125	1,440	3,150	3,150	1,665	3,150	3,150	2,160
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	5,000	5,000	3,404	5,000	4,075	1,760	3,850	3,850	2,035	3,850	3,850	2,640

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	住宅取得等の費用補助	7,000	7,000	4,800	新築5件、購入1件の計6件(市外転入者19人)
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		7,000	7,000	4,800	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

新築5件、購入1件の計6件に対し総額480万円の補助金を交付した。
 国からの交付金は216万円であった。

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	06	01	03	三世代同居等支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	04	01	03	三世代同居等支援事業

整理番号
306010301

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況 支援件数: 6件(内訳: 新築5件、増築0件、購入1件)	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況 本事業による市外からの転入者は合計19人
--	---

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A: 妥当である	移住・定住を促進することで、安定的な税収の確保と地域活性の一助となっている。	A: 有効である	補助金の存在により、茂原市で住宅取得するきっかけになる。	C: あまり効率的ではない	新築は、契約から工事完了まで期間を要するため、年度当初から11月程度まで申請期間が限定されてしまう。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A: 実現している	広報誌、本市Webサイト、自治会回覧、関係団体・住宅展示場への広告の配布を行っている。また、協定を結んでいる住宅金融支援機構による広報活動もある。	C: 実現の余地がない	行政のみでしか実施できない。	C: 実現の余地がない	行政のみでしか実施できない。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	当初予算に対し事業執行率は、68.6%であり、移住者も19人に留まっている。(総合戦略では、年間目標100人) 新築の場合、当該補助申請から契約を経て、年度内に工事完了することが条件のため、申請期間が限定される。このため、年度前半で移住を考えている人は、補助が受けられない。このことが、執行率の低さに起因している。また、その国費も年度当初は要望額の1/2しか配分されていない。

企画政策課での評価とその理由	
B: ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	本市への移住・定住の促進に一定の効果があるものと認められる。より一層、効果的な周知を図ることで移住定住人口の増加に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定 広報・ウェブサイト・関係団体への広告など、より効果的に制度の周知を図ることで移住定住の促進につなげる	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定 事業実施による転入者数(累計)
--	--

令和3年度における具体的な目標 移住・定住促進により若年層の転入促進を図り、人口増加を目指す。	令和3年度における事務事業スケジュール 申請期間令和3年4月1日~令和4年2月末 周知方法: 広報紙、市WEBサイト、東日本旅客鉄道の電車内への広告掲載、関係団体、住宅展示場への広告配布等
--	--

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

実施計画整理番号	
307020101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
不法投棄を未然に防止するとともに不法投棄されたごみについては適正に処理することを目標とする。	・職員及び不法投棄監視委員による随時パトロール ・ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布 ・千葉県環境衛生促進協議会への参加
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
・ゴミ収集カレンダーを各世帯に配布し、排出方法の徹底に努める。 ・「ゴミ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等を配布する。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)によるパトロールの実施。	・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーの配付(3月)。 ・「ゴミ集積所表示看板」、「不法投棄防止警告看板」等の配付(通年)。 ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 ・不法投棄監視員(20名)による市内パトロール(通年)。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	2,039	2,039	1,832	2,142	2,151	2,072	2,167	2,193	1,894	2,259	2,280	2,023
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	444	444	444	444	444	444	444	444	444	444	444
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	7	7	7	7	7	0	8	8	0	0	8
	一般財源	千円	1,588	1,588	1,381	1,691	1,700	1,628	1,715	1,741	1,450	1,815	1,828

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	ごみ集積所表示看板及び不法投棄防止警告看板の配布	191	193	169	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	千葉県環境衛生促進協議会への参加	50	50	50	概ね達成できた。引き続き実施する。
③	不法投棄物の回収及び処理	1,035	1,141	909	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	不法投棄監視員の配置	983	896	895	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,259	2,280	2,023	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・「ゴミと資源の分け方・出し方」の収集カレンダーを各世帯に配布しごみの排出方法の徹底に努めた。
- ・自治会等に「ごみ集積所表示看板」「不法投棄防止警告看板」等を配布した。
- ・千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。
- ・不法投棄監視員(20名)による市内パトロールの実施

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	01	ごみ排出適正化事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	02	ごみ排出適正化事業

整理番号
307020101

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視員によるパトロールの実施回数 1,097回 不法投棄防止警告看板の配付数 50枚 		不法投棄監視員からの報告件数 62件			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	ごみの排出方法の周知徹底を図るとともに、不法投棄の未然防止に努めた。	A:有効である	不法投棄された家電等は、迅速に回収し適正に処理した。	A:効率的である	不法投棄監視員のパトロールの実施により、早期発見早期対応未然防止に繋がっている。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	不法投棄監視員と毎月 of 報告書の提出により、情報共有している。	A:実現している	市民である不法投棄監視員と連携し取り組んだ。	A:実現している	市民である不法投棄監視員と連携し取り組んだ。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	家電等の小規模な不法投棄は依然として散見されるものの、大規模な不法投棄は発生していないことから一定の成果をあげているものと考えている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	大規模な不法投棄が発生していないことは、本事業が一定の成果を挙げていると認められる。より一層、関係機関との連携強化を図り、不法投棄の未然防止に努めるとともに、市民への適切なごみ排出方法の周知の徹底に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視員によるパトロールの実施回数 不法投棄防止警告看板の配布数 		不法投棄監視員からの報告件数	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集カレンダーを各世帯に配布し排出方法の徹底に努める。 「ごみ集積所表示看板」「不法投棄防止警告看板」等を配布する。 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加。 不法投棄監視員(20名)によるパトロールの実施。 		<ul style="list-style-type: none"> 「ゴミと資源の出し分け方」の収集カレンダーの配付(3月) 「ゴミ集積所表示看板」「不法投棄防止警告看板」等の配付(通年) 千葉県環境衛生促進協議会(第4支部)への参加 不法投棄監視員(20名)による市内パトロール(通年) 		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

実施計画整理番号	
307020201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要		
PLAN (計画)	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 3Rの推進により循環型社会の形成を目標とする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・リサイクル推進委員会への活動支援 ・市民団体へのリサイクル報償金の交付によるリサイクルの推進 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売 ・生ごみ処理機の購入費の補助
	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
	・直営による公共施設等の資源ごみの回収 ・自治会等の資源ごみ回収量に応じた報償金の交付 ・リサイクル推進委員会に助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施し生ごみの減量化に努める。	・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報償金の交付(9月、3月) ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	6,909	6,909	5,974	7,082	6,332	5,445	5,922	5,896	5,178	5,933	10,317	9,719	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	353	353	288	353	283	223	283	283	178	283	283	167
	一般財源	千円	6,556	6,556	5,686	6,729	6,049	5,222	5,639	5,613	5,000	5,650	10,034	9,552

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	資源ゴミの回収	1,077	5,594	5,301	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	資源ゴミ回収報償金の交付	3,036	2,951	2,648	概ね達成できた。報償金制度の見直しを検討。
③	リサイクル推進委員会の活動支援	1,116	1,116	1,116	概ね達成できた。引き続き実施する。
④	生ごみ堆肥化容器の助成販売	434	434	432	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑤	生ごみ処理機の購入費助成	270	222	222	概ね達成できた。引き続き実施する。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		5,933	10,317	9,719	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・直営による公共施設等の資源ごみ回収を行った。(通年)
- ・自治会等の資源ごみ回収量に応じて報償金を交付した。(令和2年11月、令和3年5月)
- ・リサイクル推進委員会の活動を支援した。
- ・生ごみ堆肥化容器助成販売と生ごみ処理機購入費補助制度を実施することで生ごみの減量化に努めた。(通年)

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	02	02	3R推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	02	01	03	3R推進事業

整理番号
307020201

<p>令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル報償金の交付件数(252件) ・リサイクル推進委員会への助成(1,116千円) 	<p>令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみの回収量(3,334t) ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数(55基) ・生ごみ処理機購入費補助件数(16基) 	
<p>妥当性の評価とその理由</p>	<p>有効性の評価とその理由</p>	<p>効率性の評価とその理由</p>
<p>A:妥当である</p> <p>市民団体等の理解と協力のもとリサイクルの推進が図られた。</p>	<p>B:やや有効である</p> <p>スーパー等による民間のリサイクル回収ルートが普及したことなどにより、収集量が減少傾向にある。</p>	<p>A:効率的である</p> <p>生ごみの減量化には生ごみ処理機や堆肥化容器の活用が有効な手段である。</p>
<p>「情報の共有」の状況とその理由</p>	<p>「参加」の状況とその理由</p>	<p>「協働」の状況とその理由</p>
<p>A:実現している</p> <p>広報紙や市公式ウェブサイト等で生ごみ処理機や堆肥化容器の周知を図っているが、今後更なる普及啓発が必要である。</p>	<p>A:実現している</p> <p>リサイクル推進委員会と連携しながら取り組んだ。</p>	<p>A:実現している</p> <p>リサイクル推進委員会と連携しながら取り組んだ</p>
<p>所管による評価とその理由、課題・問題点</p>		
<p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p>	<p>循環型社会の形成を目指して「3R」の推進に努めるとともにリサイクル推進委員会との連携を通じて地域のリサイクル向上に努めた。</p>	
<p>企画政策課での評価とその理由</p>		
<p>A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)</p>	<p>各種取組により循環型社会形成に一定の成果があったと認められる。市民に循環型社会の重要性の浸透を図るため、より一層の周知を図るとともに、意識の向上を図る方法についても調査・研究いただきたい。</p>	
<p>政策調整会議での評価とその理由</p>		
<p>庁議における方針</p>		

<p>令和3年度活動指標(アウトプット)の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル報償金の交付件数 ・リサイクル推進委員会への助成 ・制度の周知件数 	<p>令和3年度成果指標(アウトカム)の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ回収量 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売数 ・生ごみ処理機購入費補助件数
<p>令和3年度における具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の資源ごみの回収(通年) ・リサイクル報償金の交付(9月、3月) ・報償金制度の見直し、新たな助成制度の検討 ・リサイクル推進委員会の運営 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助金の交付(通年) 	<p>令和3年度における事務事業スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直営による公共施設等の資源ごみの回収 ・自治会等の資源ごみ回収量に応じた報償金の交付 ・リサイクル推進委員会への助成 ・生ごみ堆肥化容器の助成販売と生ごみ処理機購入費補助を実施し生ごみの減量化に努める。

CHECK(評価)

ACT(改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

実施計画整理番号	
307040101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
P L A N (計画) きれいで住みよい環境づくりを進めるため、啓発活動を通して、市民の協力のもと美化活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進 空き地に係る雑草等の除去に関する条例に基づく指導 自治会への草刈機の貸出 ポイ捨て防止条例に基づく啓発 広報紙、パンフレット等による啓発活動 ゴミゼロ運動の実施
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動に対しゴミ袋の提供や回収を行う。 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 自治会への草刈機の適切な貸し出し。 ゴミゼロ運動実施(5月31日) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化活動の推進(通年) 空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) 自治会等への草刈機の貸し出し(通年) ポイ捨て防止の啓発(広報5月号、桜まつり、七夕まつり) ゴミゼロ運動(5月)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	893	893	884	893	990	981	1,017	1,017	965	1,021	960	452
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	893	893	884	893	990	981	1,017	1,017	965	1,021	960

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	地域の環境美化活動の推進	152	150	150	概ね達成できた。引き続き推進を図る。
②	空き地に係る雑草等の除去に関する指導	9	17	17	概ね達成できた。引き続き指導を行う。
③	自治会への草刈機の貸出	162	143	105	概ね達成できた。引き続き貸出しを行う。
④	ポイ捨て防止の啓発	60	129	129	概ね達成できた。引き続き啓発を行う。
⑤	ゴミゼロ運動の実施	638	521	51	コロナ禍により中止。
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,021	960	452	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)	
<ul style="list-style-type: none"> 地域の環境美化を推進するため自治会等の地域清掃に対しゴミ袋の配付や回収を行った。 空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行った。(指導件数403件) 地域の環境美化を推進するため自治会等に草刈機の貸し出しを行った。(延べ129件) コロナ禍により、ゴミゼロ運動は中止した。 	

D O (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	美化推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	06	01	美化推進事業

整理番号
307040101

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・草刈機貸出回数 129回		・地域清掃等の実施数(113回)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市民の協力のもと美化活動の推進に努めた。	A:有効である	自主的な清掃活動の奨励を図り地域ぐるみの美化活動を推進した。	B:やや効率的である	ポイ捨て防止は行為者の意識改革が必要であり根気強く取り組む必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	その他	コロナ禍により、ゴミゼロ運動は中止した	その他	コロナ禍により、ゴミゼロ運動は中止した	A:実現している	地域清掃時にごみ袋の提供及び回収を行い市民との協働による環境美化を図った。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	市民との協働による美化活動の推進という観点からは一定の成果を挙げたと考えている。ポイ捨て防止及び空き地の雑草除去については引き続き啓発に努める。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、各種取組により市民の美化活動を推進したものと認められる。より一層の啓発活動により、市民の意識向上を図るとともにその啓発手法にも研究をされたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・草刈り機貸出回数(累計) ・地域環境美化活動でのごみ袋配布数 		<ul style="list-style-type: none"> 地域環境美化活動でのごみ回収量 	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動の推進(通年) ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導(通年) ・自治会等への草刈機の貸し出し(通年) ・ポイ捨て防止の啓発(広報5月号) 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の環境美化活動に対しごみ袋の提供や回収を行う。 ・空き地に係る雑草等の除去に関する指導を行う。 ・自治会への草刈機の適切な貸し出し。 		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

実施計画整理番号	
307040102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 自転車歩行者道路(豊田川、一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除、自治会等への消毒機の貸出や衛生指導を行い、適正な環境づくりを目標とする。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) ・自転車歩行者道路(豊田川、一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除 ・自治会等への消毒機の貸出 ・公共施設の蜂の巣駆除
令和2年度の具体的な目標 ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 ・公共施設の蜂の巣の駆除を実施する。	令和2年度スケジュール ・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月、9月) ・自治会等への消毒機の貸し出し(通年) ・公共施設の蜂の巣の駆除(通年)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	722	722	707	722	722	699	764	764	713	778	820	769
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	722	722	707	722	722	699	764	764	713	778	820

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車歩行者道路(豊田川・一宮川)沿いの桜の木の害虫駆除	704	748	748	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	自治会等への消毒機の貸出	54	52	21	概ね達成できた。引き続き貸出しを行う。
③	公共施設の蜂の巣駆除	20	20	0	対象となる案件が無かった。引き続き実施する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		778	820	769	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫防除を年2回(5月、9月)実施した。
- ・自治会等への消毒機の貸し出しを行った(通年)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	04	01	害虫防除対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	05	02	害虫防除対策事業

整理番号
307040102

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・害虫の駆除回数(2回) ・消毒機の貸し出し数(延べ14台、5団体) 	害虫駆除実施箇所数(酒盛橋から日進橋区間及び大芝地先)

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
B:ほぼ妥当である	豊田川、一宮川沿いの桜の木は観光資源として引き続き市が管理していく必要がある。	A:有効である	害虫の発生を抑制し生活環境の保全を図る。	A:効率的である	害虫駆除は業務委託により効率的に行われている。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	桜の木の害虫駆除については自治会回覧により周辺住民への周知を図った。	C:実現の余地がない	桜の害虫駆除は特殊作業のため業者委託しており市民参加の機会は提供していない。	A:実現している	自治会等に消毒機の貸し出しを行うことにより協働による生活環境の保全に努めた。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	害虫の発生を抑制し、十分な成果をあげることができた。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	適正な環境づくりに資する事業と認められる。引き続き、効率的な害虫駆除及び自治会等との連携による事業実施に努めていただきたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定
<ul style="list-style-type: none"> ・害虫の駆除回数 ・消毒機の貸し出し数 	害虫発生報告件数

令和3年度における具体的な目標	令和3年度における事務事業スケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除(5月、9月) ・自治会等への消毒機の貸し出し(通年) ・公共施設の蜂の巣の駆除(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田川、一宮川沿いの自転車歩行者道路脇の桜の害虫駆除を年2回実施する。 ・自治会等へ消毒機の貸し出しを行う。 ・公共施設の蜂の巣の駆除を実施する。

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	07	05	01	環境保全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	07	01	環境保全対策事業

実施計画整理番号	
307050101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 水質汚濁、土壌汚染などの公害防止と発生時の迅速な対処ができるよう、監視機器の整備を図って調査を実施し、また事業者の自主監視を推進するなど監視体制の充実に努めるとともに、自動車交通騒音の常時監視を行うことにより地域の騒音曝露状況を把握する。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため、検査、監視する。騒音規制法第18条第1項に基づき、茂原市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施する。
令和2年度の具体的な目標 水質検査・土壌検査、自動車騒音の常時監視を実施する。	令和2年度スケジュール 河川水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	1,066	1,011	819	1,066	1,118	913	1,026	1,026	961	1,026	1,358	1,005
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,066	1,011	819	1,066	1,118	913	1,026	1,026	961	1,026	1,358

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	水質・土壌検査の実施	623	955	602	概ね達成できた。引き続き実施する。
②	道路騒音常時監視測定の実施	403	403	403	概ね達成できた。引き続き実施する。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		1,026	1,358	1,005	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託 601,590円
河川水18ヶ所(年1~3回):8ヶ所でBOD環境基準を充たしていた。
地下水21ヶ所、工場排水4ヶ所:環境基準、排水基準を充たしていた。
- ・道路交通騒音常時監視測定委託 402,600円 一般国道128号 区間番号17210(腰当)・茂原環状線 区間番号62910(東部台2丁目)
評価区間全体、非近接空間及び近接空間で昼間・夜間ともに環境基準以下。(基準値)昼間70dB 夜間65dB
(測定値)区間番号17210(腰当)昼間70dB 夜間64dB/区間番号62910(東部台2丁目)昼間66dB 夜間60dB

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	307050101
3	07	05	01	環境保全対策事業	4	01	07	01	環境保全対策事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	河川水・地下水・工場排水及び土壌分析 河川水(18ヶ所)1~3回、地下水(21ヶ所)1回、工場排水(4ヶ所)1回 道路交通騒音常時監視測定 一般国道128号1回、茂原環状線 1回					河川水は8ヶ所でBOD環境基準を充たしていた。 地下水、工場排水は基準を充たしていた。 交通騒音は2地点の評価区間全体、非近接空間及び近接空間で昼間・夜間ともに環境基準以下であった。				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である 公共用水域、地下水の水質保全及び土壌汚染防止のため検査監視をした。主要幹線道路を対象とし、自動車騒音状況の常時監視を実施した。		A:有効である 河川水水質検査、地下水汚染の継続監視及び自動車騒音の常時監視により現状把握及び公害の未然防止に努めた。			A:効率的である 河川水・地下水・工場排水及び土壌分析委託、道路交通騒音常時監視測定委託により効率的に行った。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している 河川水水質結果については、広報及びウェブサイトにて周知。道路交通騒音監視結果はウェブサイトにて周知。		C:実現の余地がない 市民等の参加事業ではない。			C:実現の余地がない 市民等の協働事業ではない。				
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		いずれの取組も結果を広報等で周知しており、公害の発生防止と市民の環境保全意識の向上に一定の成果を挙げている。							
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		本事業は、調査結果等を周知することにより、公害防止や監視体制の充実に一定の成果があると認められる。引き続き、効果的な調査及び調査結果の周知を図ることで、市民の環境保全意識の向上に努めていただきたい。							
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										
令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定					
調査の実施回数等					調査の実施結果					
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
水質検査・土壌検査、自動車騒音の常時監視を実施する。					河川水質検査 7・10・1月 地下水水質検査 11月 工場排水水質検査 1月 道路交通騒音常時監視 10月					

A C T (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	自主防災組織支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	02	自主防災組織支援事業

実施計画整理番号	
308020101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
PLAN (計画)	<p>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</p> <p>自主防災組織に支援を行い、地域防災力の向上を図る。</p>
	<p>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</p> <p>新設自主防災会設立前には説明会を実施し、設立時には資機材を貸与する。既存自主防災会には、追加資機材の補助を行う。</p>
	<p>令和2年度の具体的な目標</p> <p>新規自主防災組織を3団体設立 研修会開催による地域のリーダー育成 自主防災組織連絡会議開催による情報交換</p>
	<p>令和2年度スケジュール</p> <p>自治会長連合会総会において、自主防災組織設立案内チラシを配布 既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(9月～) リーダー育成研修会の開催(1月) 自主防災組織連絡会議の開催(3月) 設立した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(随時) 出前講座の実施(随時)</p>

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	5,694	5,694	3,637	5,694	4,433	3,236	3,738	3,738	1,873	817	3,427	1,458
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	1,417	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,650	2,650	1,610	2,650	1,987	0	1,757	1,757	825	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	394	394	394	394	456	400	219	219	219	134	0
	一般財源	千円	2,650	2,650	1,633	2,650	1,990	1,419	1,762	1,762	829	683	3,427

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自治会への設立説明	0	0	0	出前講座等において自主防災組織の啓発を行った。引き続き周知を図り、新規自主防災組織の設立を促進する。
②	防災資機材及び個別受信機の購入	817	1,392	716	新たに設立した3団体に対して、自主防災組織に必要な資機材を貸与した。
③	追加資機材購入への補助金	0	1,650	742	10団体に資機材整備のための補助金を交付し、1団体に防災備蓄倉庫の補助金を交付した。引き続き補助金を交付する。
④	リーダー育成研修会	0	385	0	新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		817	3,427	1,458	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

出前講座の際に、自主防災組織設立及び防災対策に関する啓発を行った。
新設した自主防災組織に資機材及び戸別受信機を貸与した。また、資機材の保管のための備蓄倉庫設置に対して補助金を交付した。
既存の自主防災組織の資機材整備に対する補助金の交付を行った。

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020101
3	08	02	01	自主防災組織支援事業	2	01	14	02	自主防災組織支援事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況				令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	新規の自主防災組織が3団体設立され、防災資機材、戸別受信機を貸与した。また、7団体に対して出前講座を実施し、自主防災組織の啓発を行った。				自主防災組織のカバー率は、63.24%(令和3年4月1日現在)となり、昨年度比+1.29%となった。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由			
	A:妥当である	自主防災組織の設立及び活動の活性化は、地域防災力の向上に大きく寄与する。	A:有効である	新規自主防災組織の設立の際に、資機材及び戸別受信機の貸与を行うことで、活動を支援する。	B:やや効率的である	地域防災力の向上のため、活動における資機材の貸与及び資機材購入の補助を県の補助金を活用している。		
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由			
	A:実現している	市公式ウェブサイトにて情報発信を行っている。	A:実現している	自主防災組織は、市民自ら考え設立するものである。	A:実現している	新規自主防災組織の設立や活動に際し、資機材の貸与や購入の補助を行っている。また、随時、設立のための相談を受けている。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	新規に3団体の自主防災組織が設立された。また、既存自主防災組織の資機材整備に対する補助金を10団体が活用し、資機材の整備を行い、資機材の保管場所の備蓄倉庫設置への補助金を3団体が活用したことにより、地域防災力の向上が図られた。一方、課題として、自主防災組織の設立や活動については、各自治会等の意欲によるところが大きいいため、組織の活性化を図る方策を検討するものとする。						
	企画政策課での評価とその理由							
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)	自主防災組織の設立及び活動の支援は、地域防災力の向上に成果を挙げている。引き続き、組織の設立、活性化に資する支援を実施するとともに情報発信の強化等により、住民の意欲向上に努めるものとする。						
政策調整会議での評価とその理由								
庁議における方針								

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定				令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	資機材・戸別受信機の貸与数 職員の出前講座の実施回数				自主防災組織カバー率			
令和3年度における具体的な目標				令和3年度における事務事業スケジュール				
新規自主防災組織を5団体設立 研修会開催による地域のリーダー育成 自主防災組織連絡会議開催による情報交換				既存自主防災組織の資機材整備に対する補助事業(9月~) リーダー育成研修会の開催(1月) 自主防災組織連絡会議の開催(3月) 設立した自主防災組織に資機材、戸別受信機を貸与(随時) 出前講座の実施(随時)				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業

実施計画整理番号	
308020102	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
令和2年度の具体的な目標 要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新することで災害に備える。 避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に適切に提供する。 避難支援登録制度を活用して避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。 システム更新について具体的な検討を行う。	避難行動要支援者名簿を作成するために関係機関から情報収集を行う。適切な情報管理に努める。 令和2年度スケジュール 避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。 避難支援登録制度を活用して個別計画を随時作成する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	195	195	194	195	195	194	197	197	196	198	198	198
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	195	195	194	195	195	194	197	197	196	198	198

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	避難行動要支援者の情報管理	198	198	198	避難行動要支援者名簿の更新を実施できた。今後も継続して実施する必要がある。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		198	198	198	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:6月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行った。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020102
3	08	02	01	地域支え合い体制づくり事業	3	01	01	07	地域支え合い体制づくり事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	・避難行動要支援者名簿の更新回数 6回 ・避難支援登録制度の周知 社会福祉課ウェブサイトや民生委員を通じて周知を図った。					・避難支援登録制度登録者数 315人				
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由				
	A:妥当である 自治体が関与すべき事業であり、総合計画における目標に合致する。		A:有効である 要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成するものである。また、類似の目的を持つ事業はない。			C:あまり効率的ではない 住民基本台帳の情報及び関係各課の保有している情報を活用することは効率的であるが、管理システムが旧式のため効率性が低くなっている。				
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している 避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に提供することで情報の共有ができる。個別計画についても同様である。		B:実現に向けて取り組んでいる 災害時の地域の支え合いは、避難支援等関係者との調整が必要である。			A:実現している 災害時の地域の支え合いは、避難支援等関係者との調整が必要である。				
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を定期的に更新することで、災害に備えることができた。今後は、名簿を提供する避難支援等関係者を増やし、避難支援等関係者との連携を進める必要がある。並行して名簿情報の管理を適切に実施する必要がある。現在使用している管理システムが旧式であり、効率的なデータ管理ができなくなっていることから、システム更新する必要がある。								
企画政策課での評価とその理由										
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		避難行動要支援者名簿を定期的に更新し、災害に備えることは一定の成果を挙げていると認められる。今後は、名簿の提供について避難支援等関係者と連携をはかるとともに、管理システムの老朽化により、必要な時に使えない場合に備えシステムの更新について検討されたい。								
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										

A C T (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	・避難行動要支援者名簿の更新回数 ・避難支援登録制度の周知					・避難支援登録制度登録者数				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
要配慮者を把握して避難行動要支援者名簿を作成し、定期的に更新することで災害に備える。避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者に適切に提供する。避難支援登録制度を活用して避難支援を必要とする者の個別計画を作成する。システム更新作業を適切に実施する。					避難行動要支援者名簿の定期的(年6回:5月、7月、9月、11月、1月、3月)な更新を行う。避難支援登録制度を活用して個別計画を随時作成する。システム更新の入札、データ移行作業、システム操作方法の熟知。					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	防災行政無線施設事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	01	防災行政無線施設事業

実施計画整理番号	
308020201	
総合戦略整理番号	0

PLAN (計画)	事務事業の概要	
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
	災害発生時における市民への迅速かつ的確な情報伝達手段として整備している防災行政無線屋外子局のデジタル化及び新設を行い、機能向上と難聴地区の解消を図る。	老朽化している防災行政無線屋外子局のデジタル化への更新、難聴地区解消のための新設を行う。
	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
既存屋外子局のデジタル化による更新を13局行う。	既存屋外子局のデジタル工事 8月～10月 契約・機材の発注等 11月 工事着工 令和3年3月 工事完了	

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算										
事業費	千円	77,201	77,201	77,199	77,201	77,201	77,199	83,930	83,930	83,930	83,930	60,000	23,990	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	77,200	77,200	77,100	77,200	77,200	77,100	83,900	83,900	83,900	83,900	60,000	23,900
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1	1	99	1	1	99	30	30	30	30	0	90

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防災行政無線屋外子局のデジタル化及び新設	83,930	60,000	23,990	本年度は13か所をデジタル化する予定であったが、製造工場の火災により納期が大幅に遅れ、次年度への繰り越しとなった。次年度も今年度と合わせて26局のデジタル化工事を実施する。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		83,930	60,000	23,990	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

令和2年度は13か所をデジタル化する予定であったが、製造工場の火災により納期が大幅に遅れ、次年度への繰り越しとなった。次年度は、今年度分と合わせて26局のデジタル化工事を実施する。

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020201
3	08	02	02	防災行政無線施設事業	2	01	14	01	防災行政無線施設事業	

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況																								
既存屋外子局のデジタル化の更新13局については、部品製造工場の火災により、部品調達ができず、次年度へ繰り越しとなった。					防災行政無線デジタル化局数が昨年度と変化がなかったため、デジタル化率は、83.5%(158局中132局)のままであった。																								
妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由																							
A:妥当である		防災行政無線の整備は、市しか関与できないものである。			A:有効である		防災行政無線は、防災情報等の伝達に有効な施設であり、新設により、難聴地域対策も行っている。			C:あまり効率的ではない		デジタル化による工事費がかかるうえ、子局の増設により維持管理が増加する。また、台風後に修繕等が必要となってくる。																	
「情報の共有」の状況とその理由					「参加」の状況とその理由					「協働」の状況とその理由																			
A:実現している					防災行政無線デジタル化工事に関する自治会に自治会回覧を行っている。					A:実現している					住民からの要望により、スピーカーの角度の調整等を実施している。					C:実現の余地がない					デジタル化工事については、市と事業者との契約のため、協働の余地はない。				
所管による評価とその理由、課題・問題点																													
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		令和4年11月30日でアナログ放送が使用できなくなるため、令和3年度中に全ての子局のデジタル化を実施する必要がある。デジタル化の更新については、部品が調達できず、次年度へ繰り越しとなったが、戸別受信機の有償貸与を実施し、一部難聴地域の解消が図られた。しかしながら、難聴地域の解消や近年の住宅の遮音性の向上による情報伝達方法に課題があり、安全安心メールやYAHOO防災メール等を活用するなどの、周知が必要となってくる。																											
企画政策課での評価とその理由																													
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		部品調達の影響により、整備に遅れがあるが、引き続き、難聴地域の解消に努めるとともに、より有効な情報伝達手段の活用について、更なる周知を図るものとする。																											
政策調整会議での評価とその理由																													
庁議における方針																													

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定									
既存屋外子局のデジタル化による更新26局					デジタル化率の向上									
令和3年度における具体的な目標										令和3年度における事務事業スケジュール				
既存屋外子局のデジタル化による更新26局を実施し、全158局の更新を完了する。										既存屋外子局のデジタル工事 8月~10月 契約・機材の発注等 11月 工事着工 令和4年3月 工事完了				

CHECK (評価)

ACT (改善)

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	災害非常用対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	14	03	災害非常用対策事業

実施計画整理番号	
308020202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 市民の被災の予防や被害の軽減を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 地域防災訓練の実施、防災気象情報システムの運用、災害備蓄品の整備、各種計画の策定、改定などの災害対策事業を行い、被害の軽減を図る。
令和2年度の具体的な目標 災害対策本部の機能を強化し、災害対応力の向上を図る。洪水ハザードマップを改訂し、市民に対してわかりやすい情報提供を行う。住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域住民の災害に対する意識の高揚や行動力の向上を図る。	令和2年度スケジュール 洪水ハザードマップの改訂および配布(5月) 備蓄食料の更新(9月~12月) 地域防災訓練(高師地区)の実施(3月) もばら安全安心メール、YAHOO防災速報の加入促進(常時) 気象情報システムの運用(常時)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	12,375	12,375	12,027	12,182	14,645	14,342	17,333	20,600	14,370	7,114	119,650	116,480
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	1,688	1,671	0	0	0	0	105,894	103,171
	県補助	千円	2,218	2,218	2,159	1,044	2,518	2,510	1,720	1,720	1,552	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	10,157	10,157	9,868	11,138	10,439	10,161	15,613	18,880	12,818	7,114	13,756

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防災備蓄品の整備	2,735	4,511	4,335	備蓄食料等の更新を行った。今後も計画的に更新を行う。
②	地域防災訓練の実施	92	154	0	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、引き続き毎年実施していく。
③	もばら安全安心メール配信	382	459	427	台風等の災害情報の提供を行った。引き続き随時情報の提供に努めていく。
④	災害気象情報システムの運用	3,905	3,905	3,905	防災気象情報を取得し、災害等への対応を行った。今後もより精度の高い情報の取得に努める。
⑤	防災ハザードマップの更新	0	3,817	3,817	前年度からの繰り越し事業であり、洪水ハザードマップを更新し、新聞折込により配布を行った。
⑥	地域防災計画の改定	0	690	682	防災会議を開催し、計画を見直した。今後も随時改定を行っていく。
⑦	国土強靱化地域計画の策定	0	220	143	防災会議を開催し、計画を見直した。今後も随時改定を行っていく。
⑧	新型コロナウイルス感染症防止対策	0	105,894	103,171	全ての避難所に新型コロナウイルス感染症防止対策のため、消耗品や備品を整備した。
⑨					
⑩					
事業費計		7,114	119,650	116,480	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

消費期限を迎える備蓄食料等の更新
 防災気象情報システム委託
 防災メールの配信
 洪水ハザードマップの作成及び配布
 地域防災計画の改定及び国土強靱化の策定
 新型コロナウイルス感染症防止対策による衛生用品及び備品の整備

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	308020202
3	08	02	02	災害非常用対策事業	2	01	14	03	災害非常用対策事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況					
	備蓄食料の更新(17,480食)及び粉ミルク新規購入 地域防災訓練については新型コロナウイルス感染症の影響により中止 もばら安全安心メール、自動電話サービス加入促進について広報等にて周知					食料備蓄率約73.61%(人口の15%が避難し、1日2食3日分で計算した場合) 地域防災訓練については新型コロナウイルス感染症の影響により中止 もばら安全安心メール加入者数5,745人 自動電話サービス加入者数81人 Yahoo!防災速報加入者数21,101人					
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である	災害対策や備蓄品の整備は市の責務である。			A:有効である	備蓄品の管理や本部体制の整備は災害対策上必要である。		B:やや効率的である	備蓄率の向上とともに、更新等の経費が増大する。また、保管場所の問題も発生する。		
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由				
	A:実現している	市公式ウェブサイトでの掲載を行っている。			A:実現している	防災訓練等は、事前に自治会等と協議を行い実施している。		A:実現している	地域防災訓練等において、自治会や自主防災組織等、地域の関連団体と連携して取り組んでいる。		
	所管による評価とその理由、課題・問題点										
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	備蓄食料の更新等、当初の計画通り実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策として衛生用品や備品等を整備した。地域防災訓練については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となったが、出前講座等により、地域住民の災害に対する意識や行動力の向上を図ることができた。									
	企画政策課での評価とその理由										
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	備蓄品の管理及び更新等、計画的に実施しており地域防災訓練等についても概ね計画通り実施している。									
政策調整会議での評価とその理由											
庁議における方針											

A C T (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	避難環境の整備 備蓄食料の更新 住民参加型地域防災訓練の実施(高師地区) もばら安全安心メール、YAHOO防災速報の加入促進					備蓄食料の備蓄率 地域防災訓練の開催及び参加者数 もばら安全安心メール、YAHOO防災速報の加入者数				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
災害対策本部の機能を強化し、災害対応力の向上を図る。 住民参加型の地域防災訓練を実施し、地域住民の災害に対する意識の高揚や行動力の向上を図る。					備蓄食料の更新(9月～12月) 地域防災訓練(高師地区)の実施(9月) もばら安全安心メール、Yahoo!防災速報の加入促進(常時) 気象情報システムの運用(常時)					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	広域医療救護所整備助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	01	04	広域医療救護所整備助成事業

実施計画整理番号	
308020203	
総合戦略 整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
長生管内7市町村合同の救護所を指定医療機関に設置し、広域災害発災時に被災者のトリアージと応急医療救護を行う。	広域医療救護所の設置にあたり、指定医療機関に対し、市町村の負担割合(均等割20%、人口割80%)に応じた整備費補助を実施する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
塩田記念病院に医薬品等を整備する。	年度内に医薬品等を整備し、塩田記念病院分の整備を完了する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	15,757	15,757	15,757	12,669	12,669	8,048	0	0	0	24,509	10,153	10,153
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	15,757	15,757	15,757	12,669	12,669	8,048	0	0	0	24,509	10,153

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	広域医療救護所の整備費補助	24,509	10,153	10,153	広域医療救護所(塩田記念病院)の医薬品等を整備した。
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		24,509	10,153	10,153	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

長生郡管内7市町村合同で広域医療救護所(塩田記念病院)の医薬品等を整備した。これにより、当初計画していた3か所(公立長生病院、塩田記念病院、宍倉病院)のうち、2か所の整備が完了した。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	08	02	02	広域医療救護所整備助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
4	01	01	04	広域医療救護所整備助成事業

整理番号
308020203

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	令和2年4月1日塩田記念病院と協定締結		塩田記念病院における広域医療救護所の整備が完了した。			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	災害対策基本法に基づく医療救護活動の必要が生じた場合、迅速かつ効果的な活動を行う。	A:有効である	傷病者が集中する大規模災害発生後72時間を基本とし、応急措置を行う。	A:効率的である	被災市町村のうち、災害救助法の適用となった市町村が医療救護所を開設する。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	医療救護所の整備完了後、市公式ウェブサイト等にて周知を実施	A:実現している	長生郡管内7市町村により実施している。	A:実現している	長生郡管内7市町村で構成する災害医療分科会及び保健課長会議、並びに管理者会議にて協議を行っている。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	広域医療救護所開設のため、塩田記念病院の整備を行った。なお、広域医療救護所は、長生郡管内に3か所の整備を計画しており、令和3年度は宍倉病院の整備を実施する予定である。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	計画どおり協定を締結し整備を完了したことで、成果があったと認められる。今後も計画に沿って事業実施を行い、迅速かつ効率的な医療救護体制の整備に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	宍倉病院との広域医療救護所開設のための協議を行う。		令和3年度末までに宍倉病院の広域医療救護所の整備を完了させる。	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
宍倉病院との協定締結及び広域医療救護所の整備		令和3年4月 協定締結 令和4年3月 広域医療救護所の整備完了		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	02	防犯対策事業

実施計画整理番号	
309010101	
総合戦略 整理番号	42103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何をを行うか)
市民が安心して暮らせるよう、各防犯団体と協力し、犯罪の防止と市民の防犯意識の高揚を図る。	防犯パトロール活動の実施 防犯関係団体への活動支援
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
・年間を通じた防犯パトロールの実施。 ・関係団体との連携と適正な助成の実施。 ・広報啓発活動。	・年間を通じた防犯パトロール

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	4,179	4,179	3,890	4,578	4,764	4,633	2,728	2,728	2,695	2,898	3,233	3,116
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	150	250	246	125	125	125	125	125
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	4,179	4,179	3,890	4,428	4,514	4,387	2,603	2,603	2,570	2,773	3,108

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自主防犯団体活動支援	406	406	376	自主防犯団体の活動に寄与した。支援の継続が必要である。
②	防犯パトロール活動	503	631	544	市職員、防犯ボックス勤務員による防犯パトロールを行った。
③	防犯活動団体への補助金・負担金交付	1,989	2,196	2,196	2団体に対して助成金を交付した。助成の継続が必要である。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,898	3,233	3,116	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・防犯パトロールの実施(市防犯組合、自主防犯団体、市職員、防犯ボックス勤務員)
- ・関係団体(茂原警察署、茂原警察署管内防犯組合連合会、茂原市防犯組合)との連携と助成
- ・「電話de詐欺」防止街頭啓発(モバリん参加)
- ・パトロール用資材・装備品の配布
- ・不審者への対応方法の動画を制作し、市内小学校にDVDを配布

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目				整理番号	
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010101
3	09	01	01	防犯対策事業	2	01	13	02	防犯対策事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・自主防犯組織の助成(傷害保険1,050人:126,000円)・防犯パトロール(市防犯組合:10団体のべ68回、自主防犯団体38団体4,866回)・関係団体への助成(茂原警察署管内防犯組合連合会1,986,000円、茂原市防犯組合210,000円)・「電話de詐欺」防止街頭啓発 アスモ等6回(内モバリん参加5回)・パトロール用資材・装備品の配布(防犯ベスト、防犯キャップ、腕章、懐中電灯:249,876円:内県補助124,938円)・不審者対応方法DVD配布(市内小学校13校)		・犯罪認知件数 502件(R2) ・犯罪認知件数 489件(R1) ・犯罪認知件数 673件(H30)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。	A:有効である	犯罪認知件数が、減少傾向であるため。	A:効率的である	引き続き、犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	関係団体との連携や助成、広報啓発活動を行った。	A:実現している	自主防犯組織への助成等、関係団体との連携を通じて取り組みを行った。	A:実現している	関係団体との連携を通じて、取り組みを行った。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	犯罪認知件数が減少傾向にあり、十分な成果を挙げることができた。課題として、市内各地域の犯罪をなくすため、地域住民が一体となった防犯体制の整備や環境づくりを、より一層すすめる必要がある。					
企画政策課での評価とその理由						
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	犯罪認知件数が減少傾向にあり、十分な成果を挙げることができている。課題を克服し、地域の防犯体制を確立されたい。					
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

A C T (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・防犯パトロール実施回数 ・「電話de詐欺」防止広報啓発活動数		・犯罪認知件数	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
・犯罪等を未然に防止する効果的な防犯パトロールの実施 ・詐欺被害を未然に防止するため、もばら安全安心メールサービスの活用や啓発活動の実施		・通年:青パトでの防犯パトロールの実施 ・年金支給日:商業施設等での詐欺防止啓発活動、もばら安全安心メール・防災無線を活用した啓発活動		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	01	防犯ボックス事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	05	防犯ボックス事業

実施計画整理番号	
309010102	
総合戦略 整理番号	42103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 生活の安全を確保し、住民が安心して暮らせる社会をめざし、防犯ボックスを核に警察官OBを非常勤職員として採用し巡回パトロールや、犯罪多発地域の重点警戒、市民への啓発活動等を実施することで、自分たちの地域は自分たちで守るといった地域住民の防犯に対する意識の醸成を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 平成27年中の人口千人当たりの刑法犯認知件数について、本市は千葉県内ワースト3位(12.6件/千人)となっていることから、地域の自主的な防犯力向上のために日常的に助言を行える体制の確保や防犯関係団体と連携したパトロールを実施する。
令和2年度の具体的な目標 ・県との防犯ボックス事業の調整・協議を実施し連携を図る ・年間を通じた合同パトロールの実施、見守り活動及び街頭監視活動の実施 ・広報啓発活動による市民への周知を図る ・防犯関係団体との連携による防犯力向上を図る	令和2年度スケジュール ・県との防犯ボックス事業の調整・協議(随時) ・年間を通じた合同パトロール、見守り活動、街頭監視活動の実施 ・広報啓発活動(随時) ・防犯関係団体との連携(随時)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	2,720	2,720	2,540	9,631	10,639	9,668	9,799	9,932	9,828	9,769	12,677	11,699
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	2,489	2,489	2,406	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	231	231	134	3,631	4,639	3,668	3,799	3,932	3,828	3,769	6,677

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯ボックス整備	9,710	12,617	11,682	県補助金を活用し、適正な運営を行った
②	防犯啓発活動	59	60	17	防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に指導助言を行った。「防犯ボックスだより」を作成し市民に周知した。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		9,769	12,677	11,699	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

362日開所(1/1~1/3は閉鎖)
 防犯組合との合同パトロール、自主防犯団体に対する指導助言、街頭監視活動、見守り活動、警察署への引継、交通安全運動等に関する広報活動を実施

PLAN(計画)

DO(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	309010102
3	09	01	01	防犯ボックス事業	2	01	13	05	防犯ボックス事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況				
	362日開所(1/1~1/3は閉鎖) 防犯組合との合同パトロール(2回)、自主防犯団体に対する指導助言(2回)、街頭監視活動(1,427回)、見守り活動(816回)、警察署への引継(5回)、交通安全運動等に関する広報活動(173回)					<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪認知件数 502件(R2) ・犯罪認知件数 489件(R1) ・犯罪認知件数 673件(H30) 				
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由			
	B:ほぼ妥当である 年間を通じて勤務員による市内全域のパトロール、街頭監視活動や見守り活動、並びに合同パトロールや指導助言を行った。			A:有効である 防犯組合との合同パトロールや自主防犯団体に対する指導助言、行方不明者の捜索活動を行った。			A:効率的である 市内全域のパトロール、街頭監視活動や見守り活動、並びに合同パトロールや指導助言を行った。			
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由			
	A:実現している 「防犯ボックスだより」を作成し、自治会回覧にて市民に犯罪情報等を周知した。			A:実現している 防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に対する指導助言をした。			A:実現している 防犯組合との合同パトロールや、自主防犯団体に対する指導助言をした。			
	所管による評価とその理由、課題・問題点									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)			防犯組合との合同パトロールや自主防犯団体に対する指導助言、行方不明者の捜索活動を行い、十分な成果を挙げることができたと捉えている。 課題として、県からの補助金が5年間しかないので、今後の継続を検討する必要がある。						
	企画政策課での評価とその理由									
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)			市・防犯組合・市民の協働の活動により、犯罪の抑止力を担っている。課題とされる補助金について、今後財源確保のため先進市等調査されたい。						
政策調整会議での評価とその理由										
庁議における方針										
A C T (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯組合等との合同パトロール件数 ・防犯ボックス開所日数 					<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪認知件数 				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
<ul style="list-style-type: none"> ・防犯組合等との効果的な合同パトロールの実施、見守り活動及び街頭監視活動の実施 ・「防犯ボックスだより」など広報啓発活動による市民の防犯意識の向上 					<ul style="list-style-type: none"> ・通年: 合同パトロール、見守り活動、街頭監視活動の実施 ・毎月1回: 防犯ボックスだより発行 					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防犯設備設置・管理費

実施計画整理番号	
309010201	
総合戦略整理番号	42103

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
市民が安全で安心して暮らせるよう市内に防犯設備の設置及び維持管理を行う。	防犯灯の設置、維持管理 防犯カメラの設置、維持管理 自治会所有の防犯灯への維持管理補助 青パトドライブレコーダーの設置、維持管理
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
・犯罪認知件数の減少 ・防犯灯、防犯カメラの維持管理・設置・移管 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成	・防犯灯の維持管理・設置・移管 ・防犯カメラの設置 ・自治会への防犯灯維持管理費の助成

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算										
事業費	千円	29,958	34,197	33,056	29,735	36,879	36,096	34,607	34,607	34,300	32,275	43,303	40,196	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,360	
	県補助	千円	174	1,679	1,679	0	0	2,000	800	800	800	0	600	600
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	2,323	2,323	0	0	0	0
	一般財源	千円	29,784	32,518	31,377	29,735	36,879	34,096	31,484	31,484	33,500	32,275	42,703	31,236

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	防犯灯の設置・維持管理	30,055	30,917	28,680	37灯の新規設置を行い、既存箇所の継続管理を行った。
②	防犯カメラの設置・維持管理	245	10,613	10,062	18台を新規設置した。適切な維持管理に努める。
③	自治会所有の防犯灯への維持管理補助	1,975	1,773	1,454	64自治会に、適切に補助金を交付した。引き続き補助する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		32,275	43,303	40,196	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・防犯灯の設置、移管、維持管理
- ・自治会所有防犯灯への維持管理の助成
- ・防犯カメラの維持管理・新設

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	09	01	02	防犯設備設置・管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	13	01	防犯設備設置・管理費

整理番号
309010201

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	・防犯灯の維持管理数(8,492灯)・防犯灯の設置数(37灯)、自治会から市への移管数:100灯、事業者:2灯・自治会への防犯灯維持管理費の助成(64自治会・951灯・1,453,839円)・防犯カメラの維持管理数(66台)		・犯罪認知件数 502件(R2) ・犯罪認知件数 489件(R1) ・犯罪認知件数 673件(H30)			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 防犯灯の維持・設置・維持管理費の助成、防犯カメラの設置等、安全安心なまちづくりの実現に向けた取り組みを行った。		A:有効である 犯罪認知件数は減少傾向にあり、取り組みの成果を得た。		B:やや効率的である 引き続き犯罪を地域からなくす環境づくりを進める必要がある。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 維持管理費の助成については自治会に、防犯カメラの設置については、防犯組合及び広報にて市民に周知した。		A:実現している 防犯灯の設置や自治会の防犯灯管理費の助成等の取り組みを行った。		A:実現している 防犯灯の設置や自治会への助成等を通じて取り組みを行った。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		犯罪認知件数が減少傾向にあり、十分な成果を挙げることができたと捉えている。課題として、市でリース契約をしている防犯灯については、適切な更新の実施、維持管理していく必要がある。また自治会が所有している防犯灯、商店街が所有している街路灯については、近年、解散などで維持管理が困難なものが増加しており、防犯灯については移管、街路灯については、防犯上空白地帯とならない様、新設等の対策が必要となる。			
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)		防犯設備については、犯罪認知件数の減少につながっており成果を上げている。課題を克服し、犯罪抑止力に繋がるよう取り組まれない。			
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	・防犯灯の新規設置・自治会等からの移管合計件数		・犯罪認知件数	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
・犯罪等を未然に防止する効果的な防犯設備の設置		・8月:上半期申請分防犯灯設置 ・3月:下半期申請分防犯灯設置 ・12月:自治会への防犯灯維持管理費補助金支給		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	01	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	交通安全対策事業

実施計画整理番号	
310010101	
総合戦略整理番号	42104

事務事業の概要									
PLAN (計画)	<table border="1"> <tr> <th>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</th> <th>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</th> </tr> <tr> <td>警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。</td> <td>交通安全運動啓発 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施 交通安全推進市民大会の開催</td> </tr> <tr> <th>令和2年度の具体的な目標</th> <th>令和2年度スケジュール</th> </tr> <tr> <td>交通事故発生件数の減少</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発(毎月10日)、広報活動(随時) 交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成(随時) 交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)の開催(2月) </td> </tr> </table>	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)	警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	交通安全運動啓発 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施 交通安全推進市民大会の開催	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール	交通事故発生件数の減少	<ul style="list-style-type: none"> 四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発(毎月10日)、広報活動(随時) 交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成(随時) 交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)の開催(2月)
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)							
警察や交通安全活動団体と連携し、市民に対して交通安全に関する知識の普及と交通安全思想の高揚を図る。	交通安全運動啓発 各世代における交通安全教室等の安全教育の実施 交通安全推進市民大会の開催								
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール								
交通事故発生件数の減少	<ul style="list-style-type: none"> 四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発(毎月10日)、広報活動(随時) 交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成(随時) 交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)の開催(2月) 								

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算									
事業費	千円	970	970	916	970	961	913	961	961	780	926	925	629
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	970	970	916	970	961	913	961	961	780	926	925

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	交通安全啓発活動	370	369	74	四季の交通安全運動を始めとする広報活動を実施。引き続き活動を推進する。
②	交通安全活動団体の支援	556	556	555	各団体等へ補助金を交付し、当初の予定通り達成できた。引き続き支援する。
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		926	925	629	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 四季の交通安全運動、シートベルト・チャイルドシート着用等の街頭啓発、広報活動。
- 交通安全関係団体(茂原警察署、茂原交通安全協会茂原支部、茂原市交通安全母の会、茂原地区安全運転管理者協議会、茂原地域交通安全活動推進委員協議会)との連携と助成。
- 交通安全ポスター展の開催。【交通安全フェア☆もばら(茂原市交通安全推進市民大会)については、感染症予防対策により中止とした。】
- 交通安全指導動画を作製し、市内保育所、幼稚園、小中学校、高等学校に配布

DO
(実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	01	交通安全対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	01	交通安全対策事業

整理番号
310010101

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全運動等の街頭啓発(10回) ・関係団体への助成(555千円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・茂原警察署管内と市内の交通事故発生件数 茂原警察署管内:交通事故発生件数 300件 死亡者数 9人 茂原市内:交通事故発生件数 197件 死亡者数 2人 ・高齢者に関する交通事故発生件数 茂原警察署管内:83件(R2年中) ・自転車に関する交通事故発生件数 茂原警察署管内:46件(R2年中) ・交通安全推進市民大会の参加者数 0人(感染症予防対策により中止) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	交通安全運動等の街頭啓発を行い、交通安全対策を推進した。	A:有効である	交通事故発生件数が減少した。	A:効率的である	効率的であるが、高齢者の運転免許自主返納対策や自転車保険加入促進等の交通安全対策の推進が必要である。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	街頭啓発、広報誌、市公式ウェブサイトにて周知を行った。	A:実現している	街頭啓発を関係団体と連携して行った。	A:実現している	街頭啓発、交通安全運動への協力を、関係団体と連携を通じて行った。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	交通事故発生件数は減少傾向にあり、本事業によるものと考え、十分な成果を挙げたものと考えている。引き続き、交通安全対策の推進に努める。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	本事業の取組が、交通事故発生件数の抑止につながっていると思われる。引き続き、交通安全対策等、安心安全なまちづくりの推進に努められたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
庁議における方針						
ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定			
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室開催件数 ・交通安全啓発活動合計件数 		<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生件数 			
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール				
<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故を未然に防止する効果的な街頭啓発活動等の実施 ・交通安全教室開催による市民の交通安全意識の向上 		<ul style="list-style-type: none"> ・随時:交通安全教室開催 ・毎月10日:主要交差点での街頭啓発活動 				

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設等整備事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	02	交通安全施設整備事業

実施計画整理番号	
310010201	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
歩行者の安全を確保するために、通学路を中心とした歩道の整備等を推進する。	歩道の工事等を実施する。
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
2-18...前年度に繰越した工事を実施する。(R2完成予定) 2-21...前年度に引続き工事を実施する。 1-17...路線測量、道路詳細設計、建物調査を実施する。 1-16...不動産鑑定評価、用地測量、用地買収、工事を実施する。 3-2076...用地測量を実施する。 2-34...工事を実施する。(R2完成予定)	2-18...上半期に工事を完成する。 2-21...上半期に工事を発注する。 1-17...上半期に委託を発注する。 1-16...上半期に委託、工事を発注する。 3-2076...上半期に委託を発注する。 2-34...上半期に工事を発注する。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	146,077	134,232	84,743	59,000	152,202	118,948	93,000	110,399	49,108	147,000	145,397	125,246	
財源内訳	国補助	千円	41,123	41,123	14,905	19,200	44,841	29,792	43,751	43,751	22,905	71,100	42,350	65,594
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	93,100	93,100	10,900	17,800	82,100	24,300	43,300	43,300	20,000	68,300	34,600	51,800
	その他	千円	0	0	0	20,000	0	59,682	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	11,854	9	58,938	2,000	25,261	5,174	5,949	23,348	6,203	7,600	68,447	7,852

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	交通安全施設等整備工事(長谷/市道2級18号線)	0	15,884	15,884	繰越工事を完了させた。今後も引き続き事業を進める。
②	交通安全施設等整備工事(大芝/市道1級9号線)	0	0	0	
③	交通安全施設等整備工事(本納/市道3級2076号線)	125,000	440	440	計画変更に伴い、測量を実施した。河川工事完了後、本路線の工事を進める。
④	交通安全施設等整備工事(国府関/市道2級21号線)	22,000	88,851	69,524	一部工事を繰越した。R3年度完了見込。
⑤	交通安全施設等整備工事(立木/市道2級10号線)	0	0	0	
⑥	交通安全施設等整備工事(本納/市道1級17号線)	0	20,544	20,218	整備に向けて、測量、設計等を実施した。今後工事着手に向け、用地取得を進める。
⑦	交通安全施設等整備工事(本納/市道1級16号線)	0	19,183	18,685	工事を実施した。R3年度完了見込。
⑧	交通安全施設等整備工事(東郷/市道2級34号線)	0	495	495	工事を実施した。完了。
⑨					
⑩					
事業費計		147,000	145,397	125,246	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

1-17(本納)ほか1路線の整備に向け、測量、設計を実施した。
2-21(国府関)ほか3路線の工事を実施した。交通安全施設等整備工事 L=835.7m

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画					予算科目					整理番号
章	節	項	細	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	310010201
3	10	01	02	交通安全施設等整備事業	7	01	04	02	交通安全施設整備事業	

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況					令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況						
	歩道整備延長距離 836m					整備率 60.4km/124Km 48.7%						
	妥当性の評価とその理由			有効性の評価とその理由			効率性の評価とその理由					
	A:妥当である		茂原市が関与すべき事業であり、道路利用者が安全・安心に利用できるような整備を行っている。また、市民からの要望も多い。		A:有効である		整備済箇所は歩道として供用出来るため、通行者の安全が図れた。		B:やや効率的である		整備延長が長く、単年度での完了は難しいため、現状維持が効果的である。	
	「情報の共有」の状況とその理由			「参加」の状況とその理由			「協働」の状況とその理由					
	B:実現に向けて取り組んでいる		自治会回覧を行っている。		B:実現に向けて取り組んでいる		地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。		B:実現に向けて取り組んでいる		地元自治会や関係者の意見(要望)に応えている。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点											
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		自転車・歩行者の安全確保に関して概ね十分な成果をあげている。2級21号線について繰越した。未整備路線が多数あるので、事業拡大の必要がある。									
企画政策課での評価とその理由												
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		歩行者の安全確保に一定の成果を挙げていると認められる。引き続き、地元自治会及び関係者との協議により、計画的・効率的な事業実施に努めていただきたい。										
政策調整会議での評価とその理由												
庁議における方針												

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定					令和3年度成果指標(アウトカム)の設定				
	歩道整備延長距離					整備率				
令和3年度における具体的な目標					令和3年度における事務事業スケジュール					
2-21...前年度に引続き工事を実施する。 1-17...建物調査、用地買収を実施する。 1-16...工事を実施する。					2-21...上半期に工事を発注する。 1-17...上半期に建物調査を発注する。 1-16...上半期に工事を発注する。					

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

実施計画整理番号	
310010202	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 交通事故防止のため、区画線やカーブミラー等の交通安全施設の整備補修を行う	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 通学路を中心とした学童の安全と、歩行者や自動車が安全に通行できるように区画線の設置や引き直しを実施する
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
交通安全施設の整備補修を行う。	地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度		
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
事業費	千円	3,066	17,380	17,034	3,066	17,079	16,677	12,382	14,448	6,633	6,880	22,644	22,308
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,066	17,380	17,034	3,066	17,079	16,677	12,382	14,448	6,633	6,880	22,644

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	区画線の補修	5,600	20,814	20,483	予定していた補修箇所については、概ね実施出来た。 区画線の補修を引き続き実施していく。 予定していた整備箇所については、概ね実施出来た。 今後も交通安全施設の整備・管理を実施していく。
②	交通安全施設の整備	1,280	1,830	1,825	
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		6,880	22,644	22,308	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・交通安全施設の補修 N=6 箇所
- ・区画線設置(補修)延長 L=12,300m

PLAN (計画)

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	02	交通安全施設管理費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
7	01	04	01	交通安全施設管理費

整理番号
310010202

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修箇所数 区画線設置(補修)延長 L=10,000m 		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修 N=6箇所 区画線設置(補修)延長 L=12,300m 区画線整備率 215.78% 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	市が設置している交通安全施設については市が主体的に整備補修する必要がある。	A:有効である	交通安全施設の整備補修により交通事故防止に寄与した。	B:やや効率的である	交通安全施設の補修が一部にとどまったため。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。	C:実現の余地がない	交通安全施設の整備工事であり、取り組む余地がない。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	当該年度の執行は概ね予定通りであったが、交通安全施設の整備補修箇所が多数残っている。				
	企画政策課での評価とその理由					
	A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	概ね予定どおり事業実施していることから、一定の成果が挙げられたものと認められるものである。引き続き、交通事故防止のために効率的、計画的な事業の実施に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修 N=3箇所 区画線設置(補修)延長 L=20,000m 		<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設の補修 N=2箇所 区画線設置(補修)延長 L=10,000m 区画線整備率=50% 	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
交通安全施設の整備補修を行う。		地元要望箇所の整備を中心に、限られた予算で安全施設の整備を行う。		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	放置自転車等対策事業

実施計画整理番号	
310010501	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか) 放置自転車等による歩行者等の通行障害等を防止し、良好な都市景観と交通環境の確保を図る。	活動内容(目的を達成するために何を行うか) 放置自転車防止啓発活動 駅前放置自転車等の整理
令和2年度の具体的な目標 ・放置自転車の減少	令和2年度スケジュール ・定期的な放置自転車の撤去 ・年間を通じた広報啓発活動 ・市内高等学校での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算	
事業費	千円	851	851	720	863	843	756	880	880	837	894	1,244	1,175	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	851	851	720	863	843	756	220	220	172	220	117	154
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	660	660	665	674	1,127	1,021

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	放置自転車等防止啓発	141	474	463	市内高等学校での啓発活動は新型コロナウイルスのため中止となったが、市営自転車駐車場で啓発活動を実施した。今後も引き続き実施する。
②	放置自転車等整理業務委託	695	712	712	概ね達成できた。今後も引き続き実施する。
③	放置自転車等対策委員への報酬、団体への負担金交付	58	58	0	自転車等駐車対策協議会は、議題が無いため開催しなかった。今後も必要に応じて開催する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		894	1,244	1,175	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・放置自転車クリーンキャンペーン等の広報啓発活動
- ・駅前放置自転車整理委託(公益社団法人茂原市シルバー人材センター)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	放置自転車等対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	02	放置自転車等対策事業

整理番号
310010501

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去台数 190台 ・啓発活動数 62回 		<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の台数は昨年度より52台減 ・放置自転車の減少率 21.5% 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である 「自転車等放置防止に関する条例」に基づいた事業の実施のため。		A:有効である 駅前環境の美観の維持に寄与している。		A:効率的である 放置自転車の状況により、見直しを行っている。	
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している 放置車両の所有者に対する引取通知。禁止区域標識や広報による周知。駅前放置自転車クリーンキャンペーンでの啓発活動の実施。		B:実現に向けて取り組んでいる 必要に応じて自転車等駐車対策協議会を開催する。		B:実現に向けて取り組んでいる 必要に応じて自転車等駐車対策協議会を開催する。	
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		良好な都市景観及び交通環境の確保に努めた。引き続き、放置自転車の減少に努める。			
	企画政策課での評価とその理由					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		歩行者等の通行障害等の防止に一定の効果があつたと認められる。今後も効果的な啓発活動等を実施することにより、良好な都市環境と交通環境の確保に努めていただきたい。			
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の撤去台数 ・啓発活動数 		<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少率 	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車の減少を目指す。 		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な放置自転車の撤去 ・年間を通じた広報啓発活動 ・市内高等学校等での啓発活動(放置自転車クリーンキャンペーン) 		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	03	自転車駐車場管理運営費

実施計画整理番号	
310010502	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要									
PLAN (計画)	<table border="1"> <tr> <th>事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)</th> <th>活動内容(目的を達成するために何を行うか)</th> </tr> <tr> <td>駅周辺の良好な交通環境整備のため、自転車駐車場を管理運営する。</td> <td>自転車駐車場の管理運営</td> </tr> <tr> <th>令和2年度の具体的な目標</th> <th>令和2年度スケジュール</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場利用件数の現状維持 放置自転車の減少 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場業務委託(4月:年度協定) 年間を通じての施設管理 </td> </tr> </table>	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)	駅周辺の良好な交通環境整備のため、自転車駐車場を管理運営する。	自転車駐車場の管理運営	令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場利用件数の現状維持 放置自転車の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場業務委託(4月:年度協定) 年間を通じての施設管理
	事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)							
駅周辺の良好な交通環境整備のため、自転車駐車場を管理運営する。	自転車駐車場の管理運営								
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール								
<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場利用件数の現状維持 放置自転車の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場業務委託(4月:年度協定) 年間を通じての施設管理 								

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算										
事業費	千円	39,367	39,367	39,305	39,367	39,022	38,993	39,503	39,877	39,615	39,709	39,712	39,378	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	39,367	39,367	37,077	39,367	39,022	36,592	38,157	38,157	34,561	39,302	25,174	24,599
	一般財源	千円	0	0	2,228	0	0	2,401	1,346	1,720	5,054	407	14,538	14,779

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	自転車駐車場施設管理	1,173	1,176	1,014	指定管理者による適切な業務が行われた。引き続き業務の指導を行う。
②	自転車駐車場業務委託	34,674	34,674	34,674	指定管理者による適切な業務が行われた。引き続き業務の指導を行う。
③	自転車駐車場用地借上げ	3,862	3,862	3,690	引き続き用地借上げを行い管理する。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		39,709	39,712	39,378	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- 指定管理者の選定(公益社団法人茂原市シルバー人材センター)及び基本協定書・年度協定書の締結
- 自転車駐車場の維持管理
- 本納駅臨時駐輪場の標識工事の実施
- 自転車駐車場用地の借上げ(東日本旅客鉄道株式会社)

DO (実施)

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	10	01	05	自転車駐車場管理運営費

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	12	03	自転車駐車場管理運営費

整理番号
310010502

CHECK (評価)	令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況		令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況			
	<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場の駐車可能台数 7箇所 3,606台 施設利用の促進・啓発活動数 1回 放置自転車の撤去台数 190台 		<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場利用件数は、新型コロナウイルスの影響もあり、定期申請及び一時利用とも減少している。 放置自転車の台数は昨年度より52台減 自転車駐車場利用件数 (延べ 定期申請:12,324件、一時利用:41,562件、還付:32件) 			
	妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
	A:妥当である	「茂原市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例」に基づいた事業の取り組みを行った。	A:有効である	放置自転車の防止と安全な交通環境の確保、駅前環境の美観の維持に寄与している。	A:効率的である	7箇所ある自転車駐車場を指定管理者が一体的に管理している。
	「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
	A:実現している	広報紙や市公式ウェブサイト等で周知した。	A:実現している	指定管理者が利用者の意見書を場内で集め、市と協議し運営に反映させている。また、アンケート調査も実施した。	A:実現している	指定管理者と連携しながら、適切な管理に努めた。
	所管による評価とその理由、課題・問題点					
	B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		駅前での放置自転車の状況からもある程度の成果を挙げている。課題として、茂原駅付近に民間の駐輪場が設置されたことや、新型コロナウイルスの影響などにより利用者が減少傾向にあることから、委託料や施設維持管理費の削減など、今後の施設運営について検討する必要がある。			
企画政策課での評価とその理由						
B:ある程度の成果を挙げた(達成度4割~7割)		駅周辺の良好な交通環境の整備に一定の成果があったと認められる。今後は、より一層の施設利用促進の啓発と利用者の利便性向上に向けた管理を実施することで、利用者の増加を図るとともに、委託料及び施設維持管理費の削減に努めていただきたい。				
政策調整会議での評価とその理由						
(この欄は斜線が入ります)						
庁議における方針						
(この欄は斜線が入ります)						

ACT (改善)	令和3年度活動指標(アウトプット)の設定		令和3年度成果指標(アウトカム)の設定	
	<ul style="list-style-type: none"> 放置自転車の撤去台数 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート調査の満足度 	
令和3年度における具体的な目標		令和3年度における事務事業スケジュール		
<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場利用件数の増加 放置自転車の減少 		<ul style="list-style-type: none"> 自転車駐車場業務委託(4月:年度協定) 年間を通じての施設管理 		

令和2年度 事務事業整理シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	11	01	01	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	02	消費生活相談事業

実施計画整理番号	
311010101	
総合戦略整理番号	0

事務事業の概要	
事業の目的(【だれ・何】を【どのような状態】にするか)	活動内容(目的を達成するために何を行うか)
消費者の保護を図るため、消費生活相談体制の充実に努める。 また、トラブルを未然に防ぐため、市民を対象とした消費生活講座や中学生を対象とした出前授業を行い、消費生活に関する知識の普及や啓発に努める。	消費生活相談の実施 消費生活支援講座・消費生活講座の実施 出前授業の実施
令和2年度の具体的な目標	令和2年度スケジュール
・消費生活相談の実施による被害の減少を図る。 ・相談員の研修参加による資質向上を図る。 ・啓発活動による市民への消費生活の知識向上を図る。	・消費生活相談(通年) ・消費生活相談員、担当職員の研修(随時) ・消費生活に関する啓発活動(随時)

区分	単位	H29年度			H30年度			令和元年度			令和2年度			
		計画	予算	決算										
事業費	千円	2,810	2,810	2,796	2,755	2,769	2,296	2,765	2,765	2,355	2,718	7,764	7,483	
財源内訳	国補助	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県補助	千円	2,245	2,245	2,239	2,362	2,319	1,777	1,000	1,000	1,595	500	1,142	1,142
	市債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	565	565	557	393	450	519	1,765	1,765	760	2,218	6,622	6,341

個別取組	内容	取組に係る費用(千円)			個別取組の達成状況及び今後の方向性
		計画	予算	決算	
①	消費生活相談の実施	2,084	7,176	6,961	消費生活相談を平日毎日実施した。引き続き相談体制の充実に努める。
②	かしこい消費者づくりの推進	477	429	337	コロナ禍により、各種講座等を実施できなかったが、中学生に小冊子を配布した。今後は感染症予防対策を施し、消費者教育の推進に努める。
③	消費生活センターの運営	157	159	185	感染症予防対策を施しながら、消費生活センターを適正に運営した。引き続き適正な運営に努める。
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
⑨					
⑩					
事業費計		2,718	7,764	7,483	

令和2年度の実施状況(事務事業の実施内容等を箇条書きで具体的に記入)

- ・消費生活相談を平日毎日実施(感染症予防対策)
- ・相談員の研修のため弁護士による研修会の開催及び国・県等への研修に参加し、資質向上に努めた。
- ・各種講座が実施できなかったため、市公式ウェブサイト等により、現在流行している消費者被害の情報を提供した。
- ・コロナ禍により、出前授業は実施できなかったが、市内全中学1年生に啓発用小冊子を配布した。

令和2年度 事務事業評価シート

基本計画				
章	節	項	細	実施計画事業名
3	11	01	01	消費生活相談事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	15	02	消費生活相談事業

整理番号
311010101

令和2年度活動指標(アウトプット)の達成状況 ・消費生活支援講座・消費生活講座の実施回数・・・コロナの為開催せず ・出前授業の実施回数・・・コロナの為開催せず ・広報・「センターだより」によりセンターの周知を図った。(2回)	令和2年度成果指標(アウトカム)の達成状況 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座等の開催ができなく、満足度及び参加者数の指標を計上できない。
--	---

妥当性の評価とその理由		有効性の評価とその理由		効率性の評価とその理由	
A:妥当である	消費生活相談は地方自治体が行うべき行政サービスである。	A:有効である	市民の消費者トラブル防止・解決に有効である。	A:効率的である	専門の相談員を常時1人以上維持するため、今後も相談員の処遇改善に努める必要がある。

「情報の共有」の状況とその理由		「参加」の状況とその理由		「協働」の状況とその理由	
A:実現している	広報等により消費生活センターの周知及び事例紹介・情報提供などを定期的実施している。	B:実現に向けて取り組んでいる	推進員等を通じて提言を受けける環境を整備していく。	B:実現に向けて取り組んでいる	センターの運営についても協働の可能性を検討していく。

所管による評価とその理由、課題・問題点	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	消費生活相談事業の実施により、消費者被害の未然防止・被害回復が図られた。しかし、相談体制の充実だけでは消費者被害はなくなるため、消費者被害の未然防止に向けた消費者教育と啓発活動を通して、市民の消費生活の安定と向上に努める。また、消費生活上、特に配慮を要する消費者の見守り等必要な取り組みを検討する。

企画政策課での評価とその理由	
A:十分な成果を挙げた(達成度8割以上)	消費生活相談の実施により、被害の未然防止等図られた。課題として認識しているように、消費者教育と啓発活動に尽力し、配慮を要する消費者保護に努められたい。

政策調整会議での評価とその理由	

庁議における方針	

令和3年度活動指標(アウトプット)の設定 出前授業の実施回数 消費者トラブル未然防止のための情報発信数	令和3年度成果指標(アウトカム)の設定 消費者被害救済件数 50件(令和7年度)
--	---

令和3年度における具体的な目標 ・消費生活相談の実施による被害の減少を図る。 ・相談員の研修参加による資質向上を図る。 ・啓発活動による市民への消費生活の知識向上を図る。	令和3年度における事務事業スケジュール ・消費生活相談(通年) ・消費生活相談員・担当職員の研修(随時) ・消費生活に関する啓発活動(随時)
---	--

CHECK(評価)

ACT(改善)